

工事成績採点の調査項目別運用表【土木】

松 浦 市

令和2年4月1日

(令和5年4月1日一部改正)

別表1

1-1-① 工事成績探点の審査項目別運用表【土木】

(監督員)

審査項目	細 別	工 種	記入方法) 該当する項目の□にシママークを記入する。
1. 施工体制	I. 施工体制一般	当直運用しない④	<p>① 適切である</p> <p>□ ほぼ適切である</p> <p>□ 他の評価に該当しない</p> <p>【評価対象項目】</p> <p>① 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。</p> <p>② 施工計画書を、工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出している。</p> <p>③ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に配賦している。</p> <p>④ 現場の状況や、発生、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</p> <p>⑤ 元請が下請の作業成果を検査している。</p> <p>⑥ 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</p> <p>⑦ 現場製作期間における技術者を適切に配賦している。</p> <p>⑧ 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている。</p> <p>⑨ その他</p> <p>理由：</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>
			<p>□ 適切である</p> <p>□ ほぼ適切である</p> <p>□ 他の評価に該当しない</p> <p>【評価対象項目】</p> <p>【全体を評価する項目】</p> <p>① 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配属技術者について指示事項が無い。</p> <p>② 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配属している。</p> <p>③ 現場代理人が、工事全体を把握している。</p> <p>④ 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要ない対応を行っている。</p> <p>⑤ 監督員への報告・連絡・調整を適時及び的確に行っている。</p> <p>⑥ 監督員への報告・連絡・調整を適時及び的確に行っている。 ※特別配属技術者の指導により、監督員が適正に実施した場合も評価するものとする。</p> <p>⑦ 事前協議を踏まえ共通仕様書及び標準に基づき、工事書類の簡素化の主旨に則り工事書類を適切に作成し、提出又は提示している。</p> <p>⑧ 施工上の課題となる条件（作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。</p> <p>⑨ 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</p> <p>⑩ 監理（主任）技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。</p> <p>⑪ その他</p> <p>理由：</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>
2. 施工状況	I. 施工管理		<p>□ 適切である</p> <p>□ ほぼ適切である</p> <p>□ 他の評価に該当しない</p> <p>【評価対象項目】</p> <p>① 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。</p> <p>② 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものである。</p> <p>③ 現場条件の変化に対して、適切に対応している。</p> <p>④ 工事材料を品質に影響が無いよう保管している。</p> <p>⑤ 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p>⑥ 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p>⑦ 現場内の整理整頓を日常的に行っている。</p> <p>⑧ 指定材料の品質証明書を写真等を保管している。</p> <p>⑨ 工事打合せ簿を、事前協議に基づき、適不足無く整理している。</p> <p>⑩ 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</p> <p>⑪ 工事全線において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</p> <p>⑫ その他</p> <p>理由：</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>
			<p>□ 適切である</p> <p>□ ほぼ適切である</p> <p>□ 他の評価に該当しない</p> <p>【評価対象項目】</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にチェックを記入する。</p> <p>② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(5)</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>
工事成績探点の審査項目	I. 施工体制	当直運用しない④	<p>□ 不適切である</p> <p>□ やや不適切である</p> <p>□ 不適切である</p> <p>【評価対象項目】</p> <p>① 施工体制一般に關して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> <p>② 配属技術者に關して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> <p>③ 現場の状況や、発生、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</p> <p>④ 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</p> <p>⑤ 現場製作期間における技術者を適切に配賦している。</p> <p>⑥ 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている。</p> <p>⑦ その他</p> <p>理由：</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... b</p> <p>評価値が80%未満..... c</p>
			<p>□ 不適切である</p> <p>□ やや不適切である</p> <p>□ 不適切である</p> <p>【評価対象項目】</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にチェックを記入する。</p> <p>② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(0)</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>

※ 「施工プロセス」チェックリストの対象工事は、これを活用して評価を行う。

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

別表1 1-②

【記入方法】該当する項目の□にシママークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d	e
2. 施工状況 評価対象項目とする場合は、左の□をエックする。 また、その内容が実施されていければ右の□をエックする。 (「■」は必須項目)	II 工程管理	I 工程管理	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。 ②工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した計画工程表を作成している。 ③実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 ④地理条件の変化への対応が迅速であり、施工の滞りが見られない。 ⑤時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 ⑥工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 ⑦適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 ⑧休日の確保を行っている。 ⑨計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 ⑩その他 理由：	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 不適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である
			●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が80%未満..... c ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にエックを記入する。 ②評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(6) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	※ 2-II-19-1) ※ 2-II-19-2) ※ 2-II-19-3) ※ 2-II-19-4)	□ 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当があれば.....d	□ 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示がなかった。 上記該当があれば.....e	
III. 安全対策			<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。 ②災害防止協議会等を1回/月以上行っている。 ③安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。 ④新納入業者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 ⑤工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 ⑥過剰防止に取り組んでいる。 ⑦仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 ⑧既設施設の設置及び管理を、各種基準及び関係各団体の協議に基づき実施している。 ⑨地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 ⑩その他 理由：	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 不適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である
			●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が80%未満..... c ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にエックを記入する。 ②評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0.0%) = 該当項目数(3) / 評価対象項目数(3) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	※ 2-II-20-1) ※ 2-II-20-3) ※ 2-II-20-5) ※ 2-II-20-6) ※ 2-II-20-9) ※ 2-II-20-10) ※ 2-II-20-11)	□ 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当があれば.....d	□ 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示がなかった。 上記該当があれば.....e	
IV. 対外関係			<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切である 「評価対象項目」 ①「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。 ②関係各公庁など調整を行い、トラブルの発生が無い。 ③地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 ④第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 ⑤関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 ⑥工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 ⑦その他 理由：	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 不適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である
			●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が80%未満..... c ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にエックを記入する。 ②評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(0.0%) = 該当項目数(1) / 評価対象項目数(1) ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	※ 2-IV-22-1) ※ 2-IV-22-2) ※ 2-IV-22-4) ※ 2-II-22-3)	□ 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当があれば.....d	□ 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示がなかった。 上記該当があれば.....e	

※「施工プロセス」チェックリストの対象工事は、これを活用して評価を行う。

別表1 1-③-1

〔記入方法〕該当する項目の口にしマークを記入する。

工事成績探点の調査項目別運用表【土木】

(監督員)

調査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形		出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ※ばらつき判定は別紙4参照。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。 <input type="checkbox"/> 引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
該当する項目の口をチャエックする。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 出来形の測定は、工事全般を通じて評価するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事的目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形管理システムであるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理をおこなうものである。</p> <p>④ 出来形管理項目を認定していない工事は、「c」評価とする。</p> </div>				

別表1 1-③-2

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(監督員)

審査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ 該当する項目 の口をチエッ フする。	I. 出来形	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 ① 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 据付に関する出来形管理図などにより確認できる。 ② 設備全線にわたる形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 ③ 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 ④ 設計図書で定められない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 ⑤ 不可見部分の出来形を写真撮影している。 ⑥ 液状管理基準の出来形を写真(監督職員が撮影した箇所を除く)で確認できる。 ⑦ 溶接管理基準の溶接管理を適切にまとめている。 ⑧ 社内の管理基準に基づき管理している。 ⑨ 設計図書で定められている予備品に不足が無い。 ⑩ 分解整備における既設部分等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 ⑪ その他	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(0) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合には、評価とする。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。

●判断基準

- 評価値が80%以上..... a
- 評価値が60%以上80%未満..... b
- 評価値が60%未満..... c

理由:

別表1 1-③-3

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(監督員)

審査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ 該当する項目 の口をチエッ プする。	I. 出来形	電気通信設備工事 通信設備工事 受電電設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない 「評価対象項目」 ① 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 据付に関する出来形管理が出来形管理図などにより確認できる。 ② 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 ③ 不可測部分の出来形を写真（監督職員が臨場した箇所を除く）で確認できる。 ④ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 ⑤ 設備全線にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 ⑥ 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書の通り施工している。 ⑦ 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書の通りに敷設している。 ⑧ 測定機器のキャリブレーションを、定期的に実施している。 ⑨ 行舟などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く設置に実施している。 ⑩ 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑪ 社内の管理基準に基づき管理している。 ⑫ その他	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。改善後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	
			●判断基準 評価値が80%以上..... a 評価値が60%以上80%未満..... b 評価値が60%未満..... c	① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (0) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。			

別表1 1-④-1

〔記入方法〕該当する項目の口にしマークを記入する。

工事成績探点の調査項目別運用表【土木】

(監督員)

調査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
3. 及び 出来ばえ	II. 品質		<p>品質の判定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値の概ね50%以内である。</p> <p><input type="checkbox"/> 規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。</p>	<p>品質の判定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値の概ね80%以内である。</p> <p><input type="checkbox"/> 規格値を満足し、a, bに該当しない。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が改善請求を行った。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が改善請求を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が改善請求を行った。</p>	<p>契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。</p>
該当する項目の口をチャエックする。			<p>※ ばらつきの判定は別紙4参照。</p> <p>① 品質の判定は、工事全般を通じて判定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事事務物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体制である。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p>				

別表1 1-④-2

工事成績探点の審査項目別運用表【土木】

(監督員)

【記入方法】該当する項目の口にしマークを記入する。

審査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
3. 及び 出来ばえ	II. 品質	維持・修繕工事	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
該当する項目の口をチャエックする。			「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ①常に緊急的な作業に対処できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> ②緊急的な作業に対し、迅速に対処している。 <input type="checkbox"/> ③監督員の指示事項に対し、現地状況を勘察し、施工方法を勘察し、積極的に対応している。 <input type="checkbox"/> ④施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を立案した提案を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑤理由： <input type="checkbox"/> ⑥理由： <input type="checkbox"/> ⑦理由： <input type="checkbox"/> ⑧理由：				
			●判断基準 ※該当項目が6項目以上・・・・・・ a ※該当項目が4項目以上・・・・・・ b ※該当項目が3項目以下・・・・・・ c 注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に審査項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。				

審査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
出来形 3. 及び 出来ばえ		下水道工事 (推進工事含む)	適切である <input type="checkbox"/>	ほぼ適切である <input type="checkbox"/>	他の評価に該当しない <input type="checkbox"/>	品質関係の判定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。
評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されている口を子エックする。			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきは別紙4参照。				
評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されている口を子エックする。			【共通】 材料の品質規格資料が施工前に提出され確認している。 材料検査において傷、汚れ等がない。 路盤の密度管理等が適切で、端部を入念に施工していることが確認できる。 アスファルト・乳剤の施工及び品質管理が適切に行われている。 アスファルト舗設は温度管理・敷き均し転圧が適切に入念に施工されている。 コンクリート供材は当該現場のものであることが確認できる。 コンクリートにおける床付面は人力により良好な仕上げとなっている。 管路工における管状転圧などの施工・管理が適切に行われている。 その他 理由：				
			① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ⑦ <input type="checkbox"/> ⑧ <input type="checkbox"/> ⑨ <input type="checkbox"/> 【管渠関係】 管渠に影響を与えないクラックや変形がなく、漏水箇所がない。 管渠、マンホール等の基礎材は敷き均し及び転圧等が適切に行われている。 管渠、マンホール等の基礎、空穴コンクリート及び鉄筋は設計書とおり適切に管理、実施されている。 推進管の敷込み材料が適切で十分充填されていることが確認できる。 取付管の延長、土かぶり、勾配、位置等が適切に施工されていることが確認できる。 その他 理由：				
			⑩ <input type="checkbox"/> ⑪ <input type="checkbox"/> ⑫ <input type="checkbox"/> ⑬ <input type="checkbox"/> ⑭ <input type="checkbox"/> ⑮ <input type="checkbox"/> 【マンホール・柵関係】 マンホール・柵等はクラックがなく、連結部に止水シールや止水ゴム等が適切に施工され、漏水が認められない。 インバートの形状、勾配、表面仕上げが適切で、漏水がない。 定検金物の位置や方向が適切で鉄蓋にガタツキがなく、仕上がり末端も適正である。 その他 理由：				
			⑯ <input type="checkbox"/> ⑰ <input type="checkbox"/> ⑱ <input type="checkbox"/> ⑲ <input type="checkbox"/> 【立孔関係】 ケーシング、ライナープレート等の仮設材は、溶接、ボルト等による接合が適切に施工されていることが確認できる。 底版、裏込め、埋戻し等のコンクリートは、仕様書とおりに施工されたことが確認できる。 その他 理由：				
			⑳ <input type="checkbox"/> ㉑ <input type="checkbox"/> ㉒ <input type="checkbox"/> ㉒ <input type="checkbox"/> 【懸濁注入関係】 設計図書や計画書とおり施工されている。 使用材料(硬化材、助材含む)の使用量が入荷及び空袋で立会を行っている。 注入量、圧力等が確認できるよう適切な施工を行っている。 観測孔及び水質等の管理が適切に行われている。 注入効果の確認を行っている。 観測孔及び水質等の管理が適切に行われている。 注入効果の確認を行っている。 その他 理由：				

●判断基準

評 価	50%以下	80%以下	80%を超え	80%を超え	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可
評 価	a	a	a	b	b	b
評 価	b	b	b	c	c	c
評 価	c	c	c	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきは判断ができていない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は右の口を子エックを記入する。
 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (0)
 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合には、評価値とする。

<input checked="" type="checkbox"/>	ばらつきが50%以下
<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以下
<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以下
<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以下

<input checked="" type="checkbox"/>	ばらつきが50%以下
<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以下
<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以下
<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以下

審査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
3. 及ひ 出来ばえ	II. 品質	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。
該当する項目 の口をチェック する。			「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ①材料、部品の品質照合の書類（積物照合）の内容が設計図書仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> ②設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。 <input type="checkbox"/> ③設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 <input type="checkbox"/> ④機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> ⑤溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑥塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑦操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性にすぐれている。 <input type="checkbox"/> ⑧操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり軌設している。 <input type="checkbox"/> ⑨小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。 <input type="checkbox"/> ⑩設備の取扱説明書を工夫している。 <input type="checkbox"/> ⑪完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> ⑫機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 <input type="checkbox"/> ⑬設備の構造や機器の配置が、部品の交換作業を容易にできるように工夫している。 <input type="checkbox"/> ⑭二次コンクリートの配合試験及び試験線の実施され、試験成績表にまとめられている。 <input type="checkbox"/> ⑮ハルトタイプの配合試験を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 <input type="checkbox"/> ⑯計器類に運転時の適用範囲を員やすく表示している。 <input type="checkbox"/> ⑰回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 <input type="checkbox"/> ⑱機器の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施している。 <input type="checkbox"/> ⑳現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 理由： ●判断基準 評価値が80%以上..... a 評価値が60%以上80%未満..... b 評価値が60%未満..... c		<input type="checkbox"/> 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 <input type="checkbox"/> 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 <input type="checkbox"/> 評価値 (〇.〇%) = 該当項目数 (〇) / 評価対象項目数 (〇) (4)なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。		

別表1 1-④-6

工事成績探点の審査項目別運用表【土木】

(監督員)

【記入方法】該当する項目の口にしマークを記入する。

審査項目	細 別	工 種	a	b	c	d	e
3. 及び 出来形 出来ばえ 該当する項目 の口をチエツ フする。	II. 品質	電気通信設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である 【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> ①製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 <input type="checkbox"/> ②材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> ③機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> ④操作スイッチや表示灯が接続図書のとおり配置され、操作性に優れている。 <input type="checkbox"/> ⑤ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 <input type="checkbox"/> ⑥設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑦操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑧設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> ⑨現場条件によって機器（製品）の性能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 <input type="checkbox"/> ⑩設備全体についての取扱説明書を工夫作成（修繕・更新含む）の場合は、修繕又は更新）している。 <input type="checkbox"/> ⑪完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> ⑫設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> ⑬その他 理由：	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である 【判断基準】 ●判断基準 評価値が80%以上・・・a 評価値が60%以上80%未満・・・b 評価値が60%未満・・・c	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の判定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。

① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。
 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (0)
 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合には、評価とする。

別表1 1-⑤ 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(監督員)

審査項目	工種	工事事項
5. 創憲工夫	I. 創憲工夫	<p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備撤付後の取組問題に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ③ 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ④ 部材並びに部材等の運搬及び吊り方方式などの施工方法に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑤ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑥ 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑦ 照明などの相内の確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑧ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑨ 運搬車庫、施工機庫等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑩ 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑪ 盛土の締固め、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑫ 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑬ 出資形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑭ 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑮ ICT活用工事において、必須項目⑭⑮⑯でICTを活用した工事。 <input type="checkbox"/> ⑯ ICT活用工事において、⑮に該当する場合はチェックしない。 <p>※本項目は1点の加点とする。⑯に該当する場合はチェックしない。</p> <p>※本項目は2点の加点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ⑰ 特殊な工法や材料を用いた工事。 <input type="checkbox"/> ⑱ 働いた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 <p>【新技術活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」以外を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ② 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ※本項目は4点の加点とする。 <input type="checkbox"/> ③ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ④ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑤ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑥ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑦ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑧ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑨ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑩ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑪ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑫ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑬ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑭ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑮ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑯ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑰ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑱ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑲ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ⑳ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉑ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉒ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉓ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉔ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉕ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉖ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉗ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉘ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉙ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉚ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉛ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉜ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉝ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉞ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㉟ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊱ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊲ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊳ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊴ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊵ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊶ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊷ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊸ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊹ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊺ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊻ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊼ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊽ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊾ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <input type="checkbox"/> ㊿ 土木工事に係る新技術のうち「春田とされる技術」を適用し、適用結果結果を提出している。 <p>※本項目は4点の加点とする。</p> <p>※新技術の活用に関する上記4項目での加点は最大4点とする。</p> <p>※評定者は、発注者及び請負者の双方による全ての活用別実績書表を確認した上で加点を行う。</p> <p>なお、加点対象は請負者側から新技術活用を提案した際のみとし、発注者が指定し活用した場合は、加点措置を行わないものとする。</p> <p>※ここで、「有用とされる技術」とは、推奨技術、標準技術、設計比較対象技術、活用促進技術、小規模優良技術をいう。</p> <p>【品質】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ② コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ③ 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ④ 配筋、溶接作業等に関する工夫。 <p>【安全衛生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 建設業労働災害防止協会が定める指針等に基づく安全衛生教育を実施している。 <input type="checkbox"/> ② 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落・転倒、挟まれ、看板、立入禁止帯、手回り、足踏等) <input type="checkbox"/> ③ 安全講習、技術向上講習会、安全ハートロール等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ④ 現場事務所、労務者待合等の空間及び設備等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑤ 有酸素並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑥ 一般車両突入時の被害軽減対策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑦ 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ⑧ 環境保全に関する工夫。
<p>記入方法] 該当する項目の口にしマークを記入する。</p> <p>該当する項目の口をチャックする。</p>	<p>当座運用しない【新技術活用】①～④</p>	<p>【創憲工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載</p>

記入評価 (■) マークを付けた評価内容を詳細記述)

※1. 特に評価すべき創憲工夫事例を加点評価する。

※2. 評価は各項目において1つし点が付される。1項目1点を自点とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。

※3. 該当する数と重みを手動で調整して評価する。1項目1点を自点とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えることもよい。

※4. 上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。

※5. 創憲工夫の評価要件は、実施に先立って施工計画書や工事打合せ簿で提案されていること、別表が確認できることが必要である。

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(評価員)

2. 施工状況	細別	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている	
II. 工程管理	II. 工程管理		<input type="checkbox"/> 優れている 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行なったことにより、夜間工事の回避等を行い、工事による地域への影響を軽減された。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る構造的な取り組みが見られた。 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他 理由：	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。 上記該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 上記該当があれば・・・e	
III. 安全対策	III. 安全対策	(令和5年4月1日一部改訂「評価対象項目」)	<input type="checkbox"/> 優れている ●判断基準 該当項目が3項目以上・・・a 該当項目が1～2項目・・・b 該当項目なし・・・c	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術訓練や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> その他 理由：	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。 上記該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 上記該当があれば・・・e

別表2 1-②

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(評価員)

別表2 1-②	【記入方法】該当する項目の□にシママークを記入する。	工 種	対 応 事 項	【事例】具体的な施工条件等への対応策	(評価員)
4. 工事特性	I 施工条件等への対応	I 構造物の特殊性への対応	<p>① 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事</p> <p>② 対象構造物の形状が複雑であることから、施工条件が特に変化する工事</p> <p>③ その他</p> <p>理由： ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば4点の加点とする。</p>	<p>(1) について</p> <p>切土の土量 20万㎡以上 盛土の土量 15万㎡以上 護岸・築堤の平均高さ 10m以上 トンネル（シールド）直径 8m以上 ダム用水門 設計水深25m以上 縦門・縦筒の内径断面 15m以上 揚排水機房の吐出管径 200mm以上 堰又は水門の最大径間長25m以上 堰又は水門の扉体面積50㎡/門以上 トンネル（開削工法）の開口長さ 20m以上 トンネル（NATM）内空平均断面積 100㎡以上 トンネル（処理工法）の内空平均断面 300㎡以上 海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深 10m以上 地滑り防止工 幅100m以上かつ法長150m以上 浚渫工の浚渫土量 100万㎡以上 流路工の計画高水量 500㎡以上 砂防ダムの高さ 30m以上 ダムの高さ 150m以上 転流トンネルの流下能力 400t/s以上 橋梁下部工の高さ 30m以上 橋梁上部工の最大支間長 100m以上</p> <p>(2) について</p> <p>・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。</p> <p>・市街地等の密集集落地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</p> <p>・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。</p> <p>(3) について</p> <p>・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。</p> <p>・地元調整や環境対策などの制約が多い工事。</p> <p>・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。</p> <p>(4) について</p> <p>・河川内の橋脚工において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。</p> <p>・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しなから再設計した工事。</p> <p>(5) について</p> <p>・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。</p> <p>(6) について</p> <p>・海岸又は河川区域のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</p> <p>・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業橋台等を設置した工事。</p>	<p>(3) について</p> <p>・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。</p> <p>・その他、技術固有の難しさへの対応が必要な工事。</p> <p>・薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。</p>
			<p>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <p>④ 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事</p> <p>⑤ 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事</p> <p>⑥ 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</p> <p>⑦ 環道での交通規制に大きく影響する工事</p> <p>⑧ 事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事</p> <p>⑨ 施工箇所が広範囲にわたる工事</p> <p>⑩ その他</p> <p>理由： ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば6点の加点とする。</p>	<p>(4) について</p> <p>・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。</p> <p>・市街地等の密集集落地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</p> <p>・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。</p> <p>(5) について</p> <p>・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。</p> <p>・地元調整や環境対策などの制約が多い工事。</p> <p>・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。</p> <p>(6) について</p> <p>・河川内の橋脚工において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。</p> <p>・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しなから再設計した工事。</p> <p>(7) について</p> <p>・施工不可可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。</p> <p>(8) について</p> <p>・海岸又は河川区域のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</p> <p>・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業橋台等を設置した工事。</p>	<p>(6) について</p> <p>・市街地での夜間工事。</p> <p>・DID地区での工事。</p> <p>(7) について</p> <p>・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。</p> <p>・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。</p> <p>・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。</p> <p>(8) について</p> <p>・事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事で、24時間対応の施工により早期完成が求められる工事。</p> <p>(9) について</p> <p>・作業現場が広範囲に分布している工事。</p> <p>(10) について</p> <p>・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用などに制約を受けた工事。</p> <p>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。</p>
			<p>III 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p>⑪ 特殊な地盤条件への対応が必要な工事</p> <p>⑫ 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きき工事</p> <p>⑬ 被災箇所の措置や急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事</p> <p>⑭ 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事</p> <p>⑮ 維持補修工事等規模に比べて地元調整等の手間がかかる工事</p> <p>⑯ その他</p> <p>理由： ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば4点の加点とする。</p>	<p>(9) について</p> <p>・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事。</p> <p>(10) について</p> <p>・イソワシ等の猛禽類などの貴重な動物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事</p>	<p>(9) について</p> <p>・事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事。</p> <p>(10) について</p> <p>・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用などに制約を受けた工事。</p> <p>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。</p>
			<p>IV 長期工事における安全確保への対応</p> <p>⑰ 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間及び、工事製作で現場稼働のない期間）は除く。 ※但し、文書注意に示さない事故は除く。</p> <p>⑱ その他</p> <p>理由： ※上記の対応事項に1つ以上し点がつけば6点の加点とする。</p>	<p>(11) について</p> <p>・高峻な地形のため、作業橋台や作業床の設置が制約される工事。もしくは、命綱を使用する必要がある工事（法面工は除く）。</p> <p>・斜面上又は急峻な地形直下の工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。</p> <p>・土石流危険渓流に指定された区域内に作業を行う工事</p> <p>・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事。</p> <p>(12) について</p> <p>・イソワシ等の猛禽類などの貴重な動物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事</p>	<p>(11) について</p> <p>・高峻な地形のため、作業橋台や作業床の設置が制約される工事。もしくは、命綱を使用する必要がある工事（法面工は除く）。</p> <p>・斜面上又は急峻な地形直下の工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。</p> <p>・土石流危険渓流に指定された区域内に作業を行う工事</p> <p>・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事。</p> <p>(12) について</p> <p>・イソワシ等の猛禽類などの貴重な動物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事</p>

※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。

※2 評価に当たっては、監督員、係長等の意見も参考に評価する。

別表2

1-③

工事成績採点の調査項目別運用表【土木】

(評価員)

6. 社会性等	細別	工種	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cよりの優れている	c 他の評価に該当しない
	1. 地域への貢献等		<input type="checkbox"/> 優れている 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ② 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との調和に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> ③ 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> ④ 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> ⑤ 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> ⑥ 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> ⑦ その他 理由：	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cよりの優れている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の評価に該当しない
			●判断基準 該当項目が4項目以上..... a 該当項目が3項目以上..... a' 該当項目が2項目以上..... b 該当項目が1項目以上..... b 該当項目がなし..... c				

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(評価員)

7. 法令遵守等		法令遵守等の該当項目一覧表				
審査項目	該当する項目の口をチェックする。	措置内容	措置点数	項目数	総合点数	
● 総合評価落札方式の工事	<input type="checkbox"/>	1. 技術提案				
	<input type="checkbox"/>	理由	-10点			
	<input type="checkbox"/>	2. 配置予定技術者				
	<input type="checkbox"/>	理由	-10点			
	<input type="checkbox"/>	理由	-10点			
	<input type="checkbox"/>	理由	-8点			
	<input type="checkbox"/>	3. 契約書約定事項違反 該当1項目につき-10点				
	<input type="checkbox"/>	理由	-10点			
	<input type="checkbox"/>	4. 項目該当なし	0点			
	<input type="checkbox"/>	5. 対象工事ではない	0点			
● 総合評価落札方式以外の工事	<input type="checkbox"/>	1. 配置技術者の変更 (同等以上の技術者がいない場合)				
	<input type="checkbox"/>	理由	-10点			
	<input type="checkbox"/>	理由	-8点			
	<input type="checkbox"/>	減点				
	● 法令遵守事項等	<input type="checkbox"/>	● 1回目の措置について (下記の該当項目を1つ選択すること。該当がない場合、最下段の該当なしをチェックすること。)			
		<input type="checkbox"/>	1. 指名停止3ヶ月以上	-20点		
		<input type="checkbox"/>	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点		
		<input type="checkbox"/>	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点		
		<input type="checkbox"/>	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点		
		<input type="checkbox"/>	5. 文書注意相当	-8点		
<input type="checkbox"/>		6. 口頭注意相当	-5点			
<input type="checkbox"/>		7. 工事関係者事故または発災災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切や軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合。	-3点			
<input type="checkbox"/>		8. 該当項目なし	0点			
<input type="checkbox"/>		● 2回目の措置あり (下記の該当項目を1つだけ選択すること。複数選択しない。1回目を必ず選択しておくこと。)				
<input type="checkbox"/>	1. 指名停止3ヶ月以上	-20点				
<input type="checkbox"/>	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点				
<input type="checkbox"/>	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点				
<input type="checkbox"/>	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点				
<input type="checkbox"/>	5. 文書注意相当	-8点				
<input type="checkbox"/>	6. 口頭注意相当	-5点				
<input type="checkbox"/>	7. 不問	-3点				
<input type="checkbox"/>	減点					

① 本評価項目 (7. 法令遵守等) で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が右記の通称事例で上表の措置があった」場合に適用する。

② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容 (工事名、工期、施工場所等) を履行することに限定する。

③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行を促すために下請契約し、その履行を促す者に限定する。

【左記の表で評価する場合の通称事例】

- 契約内容に違反する事実が判明した。
- 入札前に提出した調査資料が虚偽であった事実が判明した。
- 借入条件に権利義務第三者譲渡又は承継を行った。
- 借入条件等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。
- 廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取等に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- 当該工事関係者が陪取陪等により逮捕または公訴された。
- 建設法に違反する不法投棄、砂利採取等が判明し、送検等された。
- 入国管理法に違反する外国人の不法就労が判明し、送検等された。
- 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
- 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。
- 下請代金延滞防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。
- 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織 (団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。
- 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。
- 重手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員の自動販売機の設置等を行っている事実が判明し、安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を引き起こした。
- 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書注意等による改善指示を行ったが、これに伝わらなかった。
- その他

受注者の責により技術提案の評価した内容を満足する施工が行われない場合は、その1項目につき工事成績採点を10点減する措置を行う。(「理由」欄に履行されていない具体的な内容及び「項目数」の欄に項目数を記入する)

なお、平成25年3月30日以前の契約工事については「施工計画」を「技術提案」に読み替えることとする

受注者の責により〇〇を配置または使用する旨を誓約した場合において〇〇を配置または使用しなかった場合は工事成績採点を10点減する措置を行う

(「理由」欄に配置または使用されなかった〇〇を記入する)

「配置技術者の変更 (同等以上の技術者がいない場合)」について

- 配置技術者の変更 (同等以上の技術者がいない場合) は、「2. 配置予定技術者の能力」で評価する。
- 評価においては、評価項目名に「同等以上の技術者がいない場合」と記入し、欄は必ず口の欄をチェックし10点減点する。
- さらに、入札参加資格を満たさない場合の品質確保計画書②の実施において、文書注意2回以上行って実施した場合は、評価項目名に「品質確保計画書②を実施した (文書注意2回以上)」と記入し、口の欄をチェックし8点減点する。

1. ～3. により減点措置がない場合は、「4. 項目該当なし」をチェックする

4. 総合評価落札方式対象工事でない場合は、「5. 対象工事でない」をチェックする

- 配置技術者の変更において、同等以上の技術者がいない場合に適用する。
- 評価においては、評価項目名に「同等以上の技術者がいない場合」と記入し、欄は必ず口の欄をチェックし10点減点する
- さらに、入札参加資格を満たさない場合の品質確保計画書②の実施において、文書注意2回以上行って実施した場合は、評価項目名に「品質確保計画書②を実施した (文書注意2回以上)」と記入し、口の欄をチェックし8点減点する。

● 1回目の措置について (下記の該当項目を1つ選択すること。該当がない場合、最下段の該当なしをチェックすること。)

- 指名停止3ヶ月以上
- 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満
- 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満
- 指名停止2週間以上1ヶ月未満
- 文書注意相当
- 口頭注意相当
- 工事関係者事故または発災災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切や軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合。
- 該当項目なし

● 2回目の措置あり (下記の該当項目を1つだけ選択すること。複数選択しない。1回目を必ず選択しておくこと。)

- 指名停止3ヶ月以上
- 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満
- 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満
- 指名停止2週間以上1ヶ月未満
- 文書注意相当
- 口頭注意相当
- 不問

減点

別表3 1-① 工事成積採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目	2. 施工状況	I. 施工管理	工 種	記入方法: 該当する項目の口にレマークを記入する。	備考
<p>1-① 評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施された口を子エックする。子エック(「■」は必須項目)</p>	<p>□ 優れている □ やや優れている □ 劣っている</p>	<p>□ 優れている □ やや優れている □ 劣っている</p>	<p>□ 他の評価に該当しない</p>	<p>□ 劣っている □ 施工管理について、監理員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	<p>□ 劣っている □ 施工管理について、監理員からの文書による改善指示を行った。</p>
<p>【評価対象項目】 ■ ① 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の内容を反映していることが確認できる。 □ ② 設計図書が工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとになっていることが確認できる。 □ ③ 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 □ ④ 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 □ ⑤ 工事材料を品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 □ ⑥ 立入確認の手続きを事前にしていることが確認できる。 □ ⑦ 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 □ ⑧ 施工体制(台帳及び関係図)を法令等に拘った内容で適確に整備していることが確認できる。 □ ⑨ 下請に対する引き取り(完成)検査を適確に実施していることが確認できる。 □ ⑩ 工事の関係書類を事前に協議に基づき過不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 ■ ⑪ 工事の関係書類を事前に協議に基づき過不足なく作成していることが確認できる。(平成31年4月1日以降契約工事より適用) □ ⑫ 社内の管理基準の制定、管理方法が工機毎に明確に明確である。その内容に基づき管理していることが確認できる。 □ ⑬ 施工現場監理者の活用(工事において、施工現場監理者の提案、指導に基づき、周辺地域の自然環境や水生生物の生育環境に配慮した施工を行っている。 □ ⑭ その他</p>	<p>□ 劣れている □ やや劣れている □ 劣っている</p>	<p>□ 劣れている □ やや劣れている □ 劣っている</p>	<p>□ 劣れている □ やや劣れている □ 劣っている</p>	<p>□ 劣っている □ 施工管理について、監理員からの文書による改善指示を行った。</p>	<p>□ 劣っている □ 施工管理について、監理員からの文書による改善指示を行った。</p>
<p>理由: (令和5年4月1日一部改正)</p>	<p>理由: 理由: 理由:</p>	<p>理由: 理由: 理由:</p>	<p>理由: 理由: 理由:</p>	<p>理由: 理由: 理由:</p>	<p>理由: 理由: 理由:</p>
<p>● 判断基準</p>	<p>評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が80%未満..... c</p>	<p>評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が80%未満..... c</p>	<p>評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が80%未満..... c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の形で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (2) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の形で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (2) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>

別表3 1-②-1

工事成績採点の調査項目別運用表【土木】

(検査員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	土木工事	<p>出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の4項目以上が該当する。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内(90%以内を含む)で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。</p>	<p>出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内(90%以内を含む)で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。</p>	<p>出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。</p>	<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。</p>	<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
			<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> ① 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 出来形管理が出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。(平成31年4月1日以降契約工事より適用)</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 不可辨部分の出来形を写真(監督職員が確認した箇所を除く)で確認できる。(平成31年4月1日以降契約工事より適用)</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>理由:</p>						
			<p>※はらつき判断は別紙4参照</p>						

はらつきの評価	はらつき判定可能性
<input type="checkbox"/> はらつきが50%以下	50%以下
<input type="checkbox"/> はらつきが80%以下	a'
<input type="checkbox"/> 規格値を満足し、a~b'に該当しない	b
<input type="checkbox"/> 管理項目を満足してない	c

評価項目の該当数	はらつき判定可能性
4項目以上	a'
3項目以上	b
2項目以上	c

評価項目	はらつき判定可能性
a~b'に該当しない	a'
該当しない	b
	c

① 出来形は、工事全般を通じて判定するものとする。

② 出来形とは、設計図書に示された工事事務所の形状及び寸法をいう。

③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。

④ 出来形管理項目を規定していない工事は「c」評価とする。

別表3 1-②-3

工事成精採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目	I. 出来形	II. 出来形	III. 出来形	IV. 出来形	V. 出来形	VI. 出来形	VII. 出来形	VIII. 出来形	IX. 出来形	X. 出来形	XI. 出来形	XII. 出来形	XIII. 出来形
3. 出来形及び出来はえ	<p>【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。</p> <p>機械設備工事</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> ① 掲げる出来形管理が図面に押印できよう。出来形管理図などより確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 図面と実状にわたり、形状及び寸法の差が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> ③ 施工管理基準の図形記録が確認基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> ④ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 不可預部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 設計図書に定められていない予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 分機整備における部品等品の磨耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ その他理由。</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a. 以上の優れている <input type="checkbox"/> b. 以上の優れている <input type="checkbox"/> c. 以上の優れている <input type="checkbox"/> d. 以上の優れている <input type="checkbox"/> e. 以上の優れている</p>

●判断基準
 評価値が90%以上・・・・・・ a.
 評価値が80%以上90%未満・・・・ a.
 評価値が70%以上80%未満・・・・ b.
 評価値が60%以上70%未満・・・・ b.
 評価値が60%未満・・・・・・ c

① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口の子エックを記入する。
 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。
 ③ 評価値 (〇〇%) = 該当項目数 (〇) / 評価対象項目数 (〇)
 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。

別表3 1-④-1

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 及び 出来ばえ	審査項目 細別 II. 品質	工 種 コンクリート 構造物工事	【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。	a □ 優れている 品質関係の試験結果のばらつきや評価対象項目の履行状況（評価書）から判断する。＜判断基準参照＞ 【判断基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき等の判断は別紙4参照	b □ やや優れている	c □ 他の評価に該当しない	d □ やや劣っている 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指摘を行い改善された。	e □ 劣っている 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修繕指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
<p>評価対象項目とする場合は、左の□をずエックする。また、その内容が実施されたければ右の□をずエックする。</p>	<p>【評価対象項目】</p> <p>① コンクリートの配合試験及び試験を行い、必要強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>② コンクリートの打設前に、打設済み加理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>③ 新鮮の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>④ コンクリート打設までじきび、どろ、混雑の有害物が検出に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>⑤ 経路の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>⑥ 圧接作業にあたり、作業員の技術確認を行っていることが確認できる。</p> <p>⑦ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>⑧ スプーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>⑨ 有害なクラックが無い。</p> <p>⑩ その他 理由： _____</p>	<p>【評価対象項目】</p> <p>① コンクリートの配合試験及び試験を行い、必要強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>② コンクリートの打設前に、打設済み加理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>③ 新鮮の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>④ コンクリート打設までじきび、どろ、混雑の有害物が検出に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>⑤ 経路の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>⑥ 圧接作業にあたり、作業員の技術確認を行っていることが確認できる。</p> <p>⑦ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>⑧ スプーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>⑨ 有害なクラックが無い。</p> <p>⑩ その他 理由： _____</p>	<p>●判断基準 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目..... c 該当項目が2項目以下..... d</p>	<p>●判断基準 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目..... c 該当項目が2項目以下..... d</p>	<p>●判断基準 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目..... c 該当項目が2項目以下..... d</p>	<p>●判断基準 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目..... c 該当項目が2項目以下..... d</p>	<p>●判断基準 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目..... c 該当項目が2項目以下..... d</p>	
<p>審査項目 及び 出来ばえ</p>	<p>III. 出来ばえ</p>	<p>工 種 コンクリート 構造物工事</p>		a □ 優れている	b □ やや優れている	c □ 他の評価に該当しない	d □ やや劣っている	e □ 劣っている

別表3 1-④-2

工事成積採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目	細別	出来ばえ	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	工事(盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 品類関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(取付値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 他の特長に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、監理員が文書で指図を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	<input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・e <input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・d
評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていれば右の口を子エックする。	III. 出来ばえ	工事(盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 雨次による前液が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 成切りの設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 擁壁のための規制を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めの設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝打付及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土工士の土質が設計図書に満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> C目試験などの品質管理に必要ない試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 切削除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 他の特長に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、監理員が文書で指図を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	<input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・e <input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・d
審査項目	細別	出来ばえ	a	a'	b	b'	c	d	e
評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていれば右の口を子エックする。	III. 出来ばえ	工事(盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 雨次による前液が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 成切りの設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 擁壁のための規制を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めの設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝打付及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土工士の土質が設計図書に満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> C目試験などの品質管理に必要ない試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 切削除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 他の特長に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、監理員が文書で指図を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	<input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・e <input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・d
審査項目	細別	出来ばえ	a	a'	b	b'	c	d	e
評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていれば右の口を子エックする。	III. 出来ばえ	工事(盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 雨次による前液が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 成切りの設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 擁壁のための規制を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めの設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝打付及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土工士の土質が設計図書に満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> C目試験などの品質管理に必要ない試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 切削除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由：	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 他の特長に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、監理員が文書で指図を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 品類関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	<input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・e <input type="checkbox"/> 上記該当があれば・・・d

●判断基準

割合	50%以下	50%以上	75%以上	90%以上
合格	a'	a	b'	b
不合格	b'	b	c'	c

注：試験結果の打点数等が少くばらつきのある場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

●判断基準

割合	50%以下	50%以上	75%以上	90%以上
合格	a'	a	b'	b
不合格	b'	b	c'	c

注：試験結果の打点数等が少くばらつきのある場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

●判断基準

割合	50%以下	50%以上	75%以上	90%以上
合格	a'	a	b'	b
不合格	b'	b	c'	c

注：試験結果の打点数等が少くばらつきのある場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。
 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。
 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(0)
 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

- 判断基準
- 該当項目が4項目以上..... a
 - 該当項目が3項目..... b
 - 該当項目が2項目..... c
 - 該当項目が1項目以下..... d

別表3 1-④-3

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 土工事(切工)	a 優れている	a' b以上の優れている	b やや優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
<p>【記入方法】該当する項目の口レマークを記入する。</p> <p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>評価対象項目とする場合は、左の口をチェックする。また、その内容が実施されていれば右の口をチェックする。</p>	<p>評価対象項目 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 劣れている <input type="checkbox"/> 50%以上の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(取付値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験)</p> <p>※ ばらつきかの判断は別紙を参照。</p> <p>【評価対象項目】</p> <p>① 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 切取下面以下(法面を含む)に有害な層状が発生しないよう丁寧に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 切取防護柵を確実に施工し、適切に使用されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工中の地山の挙動を監視していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 湧水処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 汚濁・流出防止対策が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 伐除関係作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ その他</p> <p>理由:</p>	<p>工種 土工事(切工)</p>	<p><input type="checkbox"/> 優れている</p>	<p><input type="checkbox"/> b以上の優れている</p>	<p><input type="checkbox"/> やや優れている</p>	<p><input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない</p>	<p><input type="checkbox"/> やや劣っている</p>	<p><input type="checkbox"/> 劣っている</p>
<p>審査項目 3. 出来形及び出来ばえ</p>	<p>細別 III. 出来ばえ</p>	<p>工種 土工事(切工)</p>	<p><input type="checkbox"/> 優れている</p>	<p><input type="checkbox"/> 劣れている</p>	<p><input type="checkbox"/> やや優れている</p>	<p><input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている</p>	<p><input type="checkbox"/> 劣っている</p>

●判断基準

90%以上	ばらつきが50%以下	ばらつきが判断可能	ばらつきが判断可能
75%以上90%未満	a'	a'	a'
60%以上75%未満	b'	b'	b'
60%未満	c'	c'	c'

注 試験結果の採点率が少なくばらつきが判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

●判断基準

ばらつきが50%以下	ばらつきが80%以下	ばらつきが80%以上を助える	ばらつきが判断不可能
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口レマークを記入する。
 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。
 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(2項目)以下の場合は、評価とする。
 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。

●判断基準
 該当項目がら項目以上..... a
 該当項目がら項目..... b
 該当項目がら項目..... c
 該当項目がら項目以下..... d

別表3 1-④-5

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 鋼構工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じ)	a 優れている	b やや優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																								
<p>【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。</p> <p>●評価基準 <table border="1"> <tr> <td>評</td> <td>100%以上</td> <td>75%以上90%未満</td> <td>60%以上75%未満</td> <td>50%以下</td> <td>50%以下</td> <td>80%未満</td> <td>ばらつき大</td> <td>判断不可能</td> </tr> <tr> <td>値</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> 注 採点結果の乱入数等が少なくばらつきが大きい場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。 ① ばらつきが50%以下 ② ばらつきが80%以下 ③ ばらつきが80%以上を越える ④ ばらつきで判断不可能 </p>	評	100%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	50%以下	50%以下	80%未満	ばらつき大	判断不可能	値	a	b	c	a	b	c	b	c	備	b	c	c	b	c	c	c	c	<p>鋼構工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じ)</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(取付値)から判断する。<判断基準参照> ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。</p> <p>【評価対象項目】 (工種製作関係) <input type="checkbox"/> ① 鋼材の種類名、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 孔空けによって生じたまぐれが削り取られていること、まめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 欠陥割の発生が早らなれないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 塗装作業を行う場合、第一種ケレン後に時間以内に全層塗料塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 塗料の塗布管理について、写真等で履歴に資していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由： </p> <p>【品質関係】 <input type="checkbox"/> ① ホルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② ホルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 高力ホルトの締め付けを、中心から外周に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 高力ホルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 支那の船付で、コンクリート面のチャックアップ及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 架設に用いる仮設脚及び架設用機材について品質、性能が確認できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 現場塗装部のケレン及び鋼厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由： </p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(取付値)から判断する。<判断基準参照> ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修繕指示を行った。検査引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。</p>
	評	100%以上	75%以上90%未満	60%以上75%未満	50%以下	50%以下	80%未満	ばらつき大	判断不可能																						
値	a	b	c	a	b	c	b	c																							
備	b	c	c	b	c	c	c	c																							
<p>出来形及び出来ばえ</p>	<p>III. 出来ばえ</p>	<p>鋼構工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じ)</p>	<p>a 優れている</p> <p>【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> ① 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ② 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> ③ 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> ④ 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。 </p>	<p>b やや優れている</p>	<p>c 他の項目に該当しない</p>	<p>d やや劣っている</p>	<p>e 劣っている</p>																								

① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。
 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。
 ③ 評価値 (〇.〇%) = 該当項目数 (〇) / 評価対象項目数 (〇)
 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とす。

●判断基準
 該当項目が4項目以上..... a
 該当項目が3項目..... b
 該当項目が2項目..... c
 該当項目が1項目以下..... d

別表3 1-④-6

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 砂防・治山構造 物工事	a 優れている	a' bより優れている	b cより優れている	c 他の項目に該当しない	d やや優っている	e 劣っている
審査項目 3. 出来形及び出来ばえ 評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていれば右の口を子エックする。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> 優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> 優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> やや優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> cより優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	<input type="checkbox"/> やや優っている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> 劣っている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」
	評価対象項目 ① コンクリートの配合試験及び試験体の作り、品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 ④ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバンプレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) ⑤ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っている。 ⑥ 地山との取り合わせ適切に行っていることが確認できる。 ⑦ 鉄筋及び構材の品質が、証明書類で確認できる。 ⑧ 各種クラックが無い。 ⑨ コンクリート打設までびびり、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 ⑩ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑪ 施工基礎を平滑に仕上げていることが確認できる。 ⑫ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑬ ホルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ⑭ ホルトの締付確認及び判定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 ⑮ その他 理由：	① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。評価対象項目数(○)。 ③ 評価値(○%) = 除去項目数(○)。 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合には評価とする。	① 90%以上 ② 75%以上90%未満 ③ 60%以上75%未満 ④ 評価値の点数数が少なく、ばらつき等の評価ができない場合は評価対象項目 (評価)だけで判断する。	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 III. 出来ばえ	工種 砂防・治山構造 物工事	a 優れている	b やや優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている
審査項目 3. 出来形及び出来ばえ 評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていれば右の口を子エックする。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> 優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> やや優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> cより優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」
	評価対象項目 ① コンクリートの配合試験及び試験体の作り、品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 ④ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバンプレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) ⑤ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っている。 ⑥ 地山との取り合わせ適切に行っていることが確認できる。 ⑦ 鉄筋及び構材の品質が、証明書類で確認できる。 ⑧ 各種クラックが無い。 ⑨ コンクリート打設までびびり、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 ⑩ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑪ 施工基礎を平滑に仕上げていることが確認できる。 ⑫ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑬ ホルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ⑭ ホルトの締付確認及び判定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 ⑮ その他 理由：	① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。評価対象項目数(○)。 ③ 評価値(○%) = 除去項目数(○)。 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合には評価とする。	① 90%以上 ② 75%以上90%未満 ③ 60%以上75%未満 ④ 評価値の点数数が少なく、ばらつき等の評価ができない場合は評価対象項目 (評価)だけで判断する。	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e	ばらつきが50%以下 a. a b. b c. c d. d e. e

別表3 1-④-10

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 基礎工事及び地盤改良工事	記入方法 該当する項目の口にレマークを記入する。	a □ 優れた □ ほぼよい □ 劣っている	b □ やや優れた □ やや劣っている	c □ 他の項目に該当しない	d □ やや劣っている □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が文書で指摘を行い改善された。	e □ 劣っている □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修補指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
審査対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されれば右の口を子エックする。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 【評価対象項目】 【付関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 杭に挿入及び補修等の方法が適切に実施されていることが確認できる。 杭に挿入の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 杭の処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 支持地盤に達していること、埋割深さ、掘削土砂等による確認できる。 場所打杭に達していること、掘削土砂、掘削土砂内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 掘削深さ、排水土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 配管、スパーサーの配置及びコンクリート打設後、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ナイーブプレートの組み立てにあり、偏心和歪みに配慮して施工していることが確認できる。 敷設材注入の圧力などが施工記録に記録されていることが確認できる。 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係る事項の管理資料を整理していることが確認できる。 その他 理由：	【地盤改良関係】 改良材のハッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 その他 理由：	① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口に子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値（0.0%）＝ 該当項目数（0） / 評価対象項目数（0） ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は評価とする。	ばらつき等の評価 □ ばらつきが50%以下 □ ばらつきが80%以下 □ ばらつきが80%以上を越える □ ばらつきで判断不可能	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を越える 判断不可能 a b a b a' b' a' b' 75%以上 90%未満 a b 60%以上 75%未満 b' c c 60%未満 b' c c c	上記該当があれば・・・d 上記該当があれば・・・e		
							3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ

別表3 1-④-12

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 コンクリート構上部工事 (PC及びRCを対象)	a 優れている	a' b以上の優れている	b やや優れている	b' c以上の優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																		
評価対象項目とする場合は左の口を子エックする。また、その内容が実施されれば右の口を子エックする。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(判断値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験(評価対象項目) ※ ばらつきの評価は別紙4参照。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(判断値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験(評価対象項目) ※ ばらつきの評価は別紙4参照。	<input type="checkbox"/> 優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(判断値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験(評価対象項目) ※ ばらつきの評価は別紙4参照。	<input type="checkbox"/> b以上の優れている コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物含量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。	<input type="checkbox"/> やや優れている コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	<input type="checkbox"/> c以上の優れている 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該取巻の供試体であることが確認できる。	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が文書で指摘を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 劣っている 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修補指示を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。																		
			評価対象項目 ① コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 ② 鉄筋の品質が、証明書で確認できる。 ③ 鉄筋の引張強度及び引張強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ④ コンクリート打設までにびびり、どろり、流注の有害物が発生し付着しないよう管理していることが確認できる。 ⑤ 圧搾作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 ⑥ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑦ コンクリートの養生及び防凍が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑧ スペースの品質及び防凍が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑨ プレミュームの品質及び防凍が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑩ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 ⑪ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑫ プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑬ コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 ⑭ 有害なクラックが無い。 ⑮ その他 理由：	ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以上を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	判断基準 <table border="1"> <tr> <td>90%以上</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を越える</td> <td>ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a'</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>c'</td> <td>c</td> <td>c'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。	90%以上	50%以下	80%以下	80%を越える	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能	a	a'	a	a'	b	b	b	b'	b	b'	c	c	c	c'	c	c'
90%以上	50%以下	80%以下	80%を越える	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能																						
a	a'	a	a'	b	b																						
b	b'	b	b'	c	c																						
c	c'	c	c'	c	c																						
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	コンクリート構上部工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> c以上の優れている	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																		
評価対象項目とする場合は左の口を子エックする。また、その内容が実施されれば右の口を子エックする。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(判断値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験(評価対象項目) ※ ばらつきの評価は別紙4参照。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(判断値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験(評価対象項目) ※ ばらつきの評価は別紙4参照。	<input type="checkbox"/> 優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(判断値)から判断する。<判断基準参照> 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験(評価対象項目) ※ ばらつきの評価は別紙4参照。	<input type="checkbox"/> b以上の優れている コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物含量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。	<input type="checkbox"/> やや優れている コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。	<input type="checkbox"/> c以上の優れている 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該取巻の供試体であることが確認できる。	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修補指示を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。																		
			評価対象項目 ① コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 ② 鉄筋の品質が、証明書で確認できる。 ③ 鉄筋の引張強度及び引張強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ④ コンクリート打設までにびびり、どろり、流注の有害物が発生し付着しないよう管理していることが確認できる。 ⑤ 圧搾作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 ⑥ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑦ コンクリートの養生及び防凍が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑧ スペースの品質及び防凍が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑨ プレミュームの品質及び防凍が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑩ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 ⑪ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑫ プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑬ コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 ⑭ 有害なクラックが無い。 ⑮ その他 理由：	ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以上を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	判断基準 <table border="1"> <tr> <td>90%以上</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を越える</td> <td>ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a'</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>c'</td> <td>c</td> <td>c'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。	90%以上	50%以下	80%以下	80%を越える	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能	a	a'	a	a'	b	b	b	b'	b	b'	c	c	c	c'	c	c'
90%以上	50%以下	80%以下	80%を越える	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能																						
a	a'	a	a'	b	b																						
b	b'	b	b'	c	c																						
c	c'	c	c'	c	c																						
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	コンクリート構上部工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> c以上の優れている	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																		
			評価対象項目 ① コンクリートの構造物の表面状態が良い。 ② コンクリート構造物の湧りの良い。 ③ 天端及び端部の仕上げが良い。 ④ 汚染物の仕上げが良い。 ⑤ クラックが無い。 ⑥ 全体的な美観が良い。	判断基準 該当項目が5項目以上 該当項目が4項目 該当項目が3項目 該当項目が2項目以下																							

別表3 1-④-17 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 標識工事	備考 「記入方法」該当する項目の口にレマークを記入する。			
審査項目 3. 出来形及び出来ばえ 評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されたければ右エックする。	a <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 品関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（写真・動画）から判断する。＜判断基準参照＞ ※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 ① 採掘等標準設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 ② 床廻りの仕上がり面において、地山の吐れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 ③ 基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 ④ 支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 ⑤ 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 ⑥ 使用する材料が、設計図書に把握していることが確認できる。 ⑦ その他 理由：	a' <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <判断基準参照>	b' <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他のもに該当しない	c <input type="checkbox"/> 他のもに該当しない ばらつき等の評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以上を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可	d <input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 品関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修繕指示を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	e <input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 品関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修繕指示を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
	「評価対象項目」 「評価位置」に配置がある。 <input type="checkbox"/> ① 設備の向き並びに角割及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> ② 構造物の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> ③ 構造物の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> ④ 全体的美観が良い。 <input type="checkbox"/> ⑤	b <input type="checkbox"/> やや優れている	c <input type="checkbox"/> 他のもに該当しない	d <input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている	e <input type="checkbox"/> 劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ 「評価対象項目」 該当項目が4項目以上 該当項目が3項目 該当項目が2項目 該当項目が1項目以下	a <input type="checkbox"/> 優れている	b <input type="checkbox"/> やや優れている	c <input type="checkbox"/> 他のもに該当しない	d <input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている	e <input type="checkbox"/> 劣っている

●判断基準

90%以上	ばらつきで判断可能	ばらつきで
75%以上90%未満	50%以下 80%以下 80%未満	判断不可
60%以上75%未満	a' a b	a b
50%未満	b' b c	b' b' c
	c c	c c

注：試験結果の採点数等が少なくはらつき等の判断ができ無い場合は評価対象項目（評価値）について判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。
 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価対象項目数 (O)
 ③ 評価値 (O.O%) = 該当項目数 (O) / 評価対象項目数 (O)
 ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価値は0とする。

別表3 1-④-18 工事成構探点の調査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	審査項目 細別 II. 品質	区画線工事	工種	記入方法】該当する項目の口に入力する。
<p>審査項目 3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施された口を子エックする。</p>	<p>評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> aより優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> dより優れている <input type="checkbox"/> eより優れている</p> <p>※ ばらつき等の判断は別紙4参照。</p> <p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ヘント式(常温式)区画線の使用状況(取付値)が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが図本等で設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の区画線及び路肩の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> フライマの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p>	<p>区画線工事</p> <p>区画線工事</p> <p>区画線工事</p>	<p>区画線工事</p> <p>区画線工事</p> <p>区画線工事</p>	<p>記入方法】該当する項目の口に入力する。</p>
	<p>評価対象項目】 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以上を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口に入力して評価する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(○) / 評価対象項目数(○) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>他の評価に該当しない</p>
<p>審査項目 3. 出来形及び出来ばえ</p>	<p>評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> aより優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> dより優れている <input type="checkbox"/> eより優れている</p> <p>※ ばらつき等の判断は別紙4参照。</p> <p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p>	<p>区画線工事</p>	<p>区画線工事</p>	<p>記入方法】該当する項目の口に入力する。</p>
	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>他の評価に該当しない</p>	<p>他の評価に該当しない</p>

90%以上	a	b	c	d	e
75%以上90%未満	a	b	c	d	e
60%以上75%未満	a	b	c	d	e
60%未満	a	b	c	d	e

注 試験結果の採点数等が少くばらつき等の判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

50%以下	a	b	c	d	e
80%以下	a	b	c	d	e
80%を越える	a	b	c	d	e
ばらつきで判断不可	a	b	c	d	e

90%以上	a	b	c	d	e
75%以上90%未満	a	b	c	d	e
60%以上75%未満	a	b	c	d	e
60%未満	a	b	c	d	e

別表3 1-④-20

工事成績探点の調査項目別運用表【土木】

(検査員)

調査項目	細別	品質	出来ばえ	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	維持工事、除草(清掃工、付属物工、除雪、高感処理等)	「評価対象項目」 ① 使用する材料の目録、形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適理・的確に行っていることが確認できる。 ② 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ③ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 ④ 緊密な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 ⑤ 理由： ⑥ 理由： ⑦ 理由： ⑧ 理由：	「評価対象項目」 ① 使用している材料の目録、形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適理・的確に行っていることが確認できる。 ② 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ③ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 ④ 緊密な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 ⑤ 理由： ⑥ 理由： ⑦ 理由： ⑧ 理由：	□ aより優れている □ bより優れている □ cより優れている	□ やや優れている □ やや劣っている	□ 他の項目に該当しない	□ やや劣っている □ 高感処理の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修繕指示を行った。引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	
					<ul style="list-style-type: none"> ● 判断基準 ※ 該当項目が6項目以上……………a ※ 該当項目が5項目……………a' ※ 該当項目が4項目……………b ※ 該当項目が3項目……………b' ※ 該当項目が2項目以下……………c 				上記該当があれば……d
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	維持工事、除草(清掃工、付属物工、除雪、高感処理等)	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	□ aより優れている □ bより優れている	□ やや優れている	□ 他の項目に該当しない	□ やや劣っている	上記該当があれば……e

注 多工種兼施工とする場合は4-36「その他工事」に入力すること

別表3 1-④-21

工事成績探点の調査項目別運用表【土木】

(検査員)

調査項目	細別	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> bよりの優れている <input type="checkbox"/> aよりの優れている <input type="checkbox"/> cよりの優れている <input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> bよりの優れている <input type="checkbox"/> aよりの優れている <input type="checkbox"/> cよりの優れている <input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の原面に該当しない <input type="checkbox"/> 他原面に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	
評価対象項目とする場合は、左の口をチェックする。また、その内容が実施されていれば右の口をチェックする。			「評価対象項目」 ① 使用する材料の目録・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適理・的確に行っていることが確認できる。 ② 橋梁物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ③ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や補強についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 ④ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 ⑤ 理由： ⑥ 理由： ⑦ 理由： ⑧ 理由：	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	① 使用材料の目録・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適理・的確に行っていることが確認できる。 ② 橋梁物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ③ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や補強についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 ④ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 ⑤ 理由： ⑥ 理由： ⑦ 理由： ⑧ 理由：	① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	① 使用材料の目録・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適理・的確に行っていることが確認できる。 ② 橋梁物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 ③ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や補強についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 ④ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 ⑤ 理由： ⑥ 理由： ⑦ 理由： ⑧ 理由：	① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c <input type="checkbox"/> d <input type="checkbox"/> e	<input type="checkbox"/> 他原面に該当しない <input type="checkbox"/> 他原面に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	
評価対象項目とする場合は、左の口をチェックする。また、その内容が実施されていれば右の口をチェックする。			「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	

注 多工種総合工事とする場合は4-36「その他工事」に入力すること

別表3 1-④-22 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 ため池工事	a 優れている	a' b以上の優れている	b やや優れている	b' c以上の優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																																																																		
<p>【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。</p> <p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>評価対象項目と、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていれば右の口を子エックする。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの評価は別紙を参照。</p> <p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 仕様等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書の整備されている。 <input type="checkbox"/> 基礎処理施工要領及び法面が準準に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように排水対策を実施した。 <input type="checkbox"/> 気象条件が考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶり等は工事図面に示されたとおりに施工している。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1 仕法等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 2 材料の品質規定証明書の整備されている。 <input type="checkbox"/> 3 基礎処理施工要領及び法面が準準に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 4 雨水による崩壊が起らないように排水対策を実施した。 <input type="checkbox"/> 5 気象条件が考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 6 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶり等は工事図面に示されたとおりに施工している。 <input type="checkbox"/> 7 その他 理由： _____</p>	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以上を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> 90%以上 <input type="checkbox"/> 75%以上90%未満 <input type="checkbox"/> 60%以上75%未満 <input type="checkbox"/> 60%未満	<input type="checkbox"/> c以上の優れている <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満	<input type="checkbox"/> 他項目に該当しない <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 90%以上 <input type="checkbox"/> 75%以上90%未満 <input type="checkbox"/> 60%以上75%未満 <input type="checkbox"/> 60%未満	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修補指示を行った。引渡し後、監理員保期間中に事故等により関係が判明した。																																																																			
			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口の子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。 ③ 評価値(O.O%) = 該当項目数(O) / 評価対象項目数(O) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。</p>	<p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評</td> <td>90%以上</td> <td>85%以上</td> <td>80%以下</td> <td>80%未満</td> <td>85%未満</td> </tr> <tr> <td>準</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の採点数等が少なくばらつきが大きい場合は、採点項目の数を(評価)だけで判断する。</p>	評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満	準	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口の子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。 ③ 評価値(O.O%) = 該当項目数(O) / 評価対象項目数(O) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。</p>	<p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評</td> <td>90%以上</td> <td>85%以上</td> <td>80%以下</td> <td>80%未満</td> <td>85%未満</td> </tr> <tr> <td>準</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の採点数等が少なくばらつきが大きい場合は、採点項目の数を(評価)だけで判断する。</p>	評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満	準	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'
評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満																																																																						
準	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満																																																																						
準	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p>	<p>III. 出来ばえ</p>	<p>ため池工事</p>	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 劣れている	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input type="checkbox"/> 他項目に該当しない <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																																																																			
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの評価は別紙を参照。</p> <p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 仕様等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書の整備されている。 <input type="checkbox"/> 基礎処理施工要領及び法面が準準に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように排水対策を実施した。 <input type="checkbox"/> 気象条件が考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶり等は工事図面に示されたとおりに施工している。 <input type="checkbox"/> その他 理由： _____</p>	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 1 仕法等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 2 材料の品質規定証明書の整備されている。 <input type="checkbox"/> 3 基礎処理施工要領及び法面が準準に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 4 雨水による崩壊が起らないように排水対策を実施した。 <input type="checkbox"/> 5 気象条件が考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 6 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶり等は工事図面に示されたとおりに施工している。 <input type="checkbox"/> 7 その他 理由： _____</p>	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以上を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> 90%以上 <input type="checkbox"/> 75%以上90%未満 <input type="checkbox"/> 60%以上75%未満 <input type="checkbox"/> 60%未満	<input type="checkbox"/> c以上の優れている <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満	<input type="checkbox"/> 他項目に該当しない <input type="checkbox"/> 50%以下 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満 <input type="checkbox"/> 80%未満	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																																																																			
			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口の子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。 ③ 評価値(O.O%) = 該当項目数(O) / 評価対象項目数(O) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。</p>	<p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評</td> <td>90%以上</td> <td>85%以上</td> <td>80%以下</td> <td>80%未満</td> <td>85%未満</td> </tr> <tr> <td>準</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の採点数等が少なくばらつきが大きい場合は、採点項目の数を(評価)だけで判断する。</p>	評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満	準	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口の子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。 ③ 評価値(O.O%) = 該当項目数(O) / 評価対象項目数(O) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。</p>	<p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評</td> <td>90%以上</td> <td>85%以上</td> <td>80%以下</td> <td>80%未満</td> <td>85%未満</td> </tr> <tr> <td>準</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>備</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の採点数等が少なくばらつきが大きい場合は、採点項目の数を(評価)だけで判断する。</p>	評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満	準	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'	b	b'	b	備	a	a'
評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満																																																																						
準	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
評	90%以上	85%以上	80%以下	80%未満	85%未満																																																																						
準	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						
備	a	a'	b	b'	b																																																																						

別表3 1-④-24

工事成積採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 管水路工事	a 優れている	a' b上の優れている	b やや優れている	b' c上の優れている	c 他の原面に該当しない	c' 他の原面に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
<p>【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。</p> <p>審査項目 3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていれば右エックする。</p>	<p>「評価対象項目」 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>「評価対象項目」 管の通りがよい。 ① 内部コンクリート構造物の崩れがよい。 ② 内部コンクリート構造物の通りがよい。 ③ 内部コンクリート構造物にクラックがない。 ④ 全体的な美観が良い。</p>	<p>優れている</p>	<p>b上の優れている</p>	<p>やや優れている</p>	<p>c上の優れている</p>	<p>他の原面に該当しない</p>	<p>他の原面に該当しない</p>	<p>やや劣っている</p>	<p>劣っている</p>
			<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（原価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつきの判断は別紙4参照。</p> <p>① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 ③ 中心線の通りがよい。 ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 ⑤ 地盤面、基礎面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 ⑥ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 ⑦ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。</p>
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p>	<p>III. 出来ばえ</p>	<p>管水路工事</p>	<p>優れている</p>	<p>b上の優れている</p>	<p>やや優れている</p>	<p>c上の優れている</p>	<p>他の原面に該当しない</p>	<p>他の原面に該当しない</p>	<p>やや劣っている</p>	<p>劣っている</p>

●判断基準

90%以上	50%以下	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断可能
75%以上90%未満	a'	50%以下 80%を越える	判断可能
60%以上75%未満	b'	a	a'
60%未満	c	b	b'
	c	b'	c
	c	c	c

① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてエックを記入する。
② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価対象項目数 (O)
③ 評価値 (O.0%) = 該当項目数 (O) / 評価対象項目数 (O)
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は原価を評価とする。

●判断基準

該当項目が4項目以上
a
該当項目が3項目
b
該当項目が2項目
c
該当項目が1項目以下
d

別表3 1-④-25-2

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 港湾工事 (埋岸築造工事)	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																				
3. 出来形及び出来ばえ 評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されている場合は右の口を子エックする。	II. 品質	港湾工事 (埋岸築造工事)	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> ① 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び物理試験コリアートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度、W/C、耐水骨材粒径、堆積重量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コリアート打設時の必要な供試体採取し、強度・ワット・空気量等を試験した結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ コリアート供試体が当該箇所の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固めの「ワ」リウの機種が仕様書に定められた条件を満たしていることが確認できる。（兼中及び兼中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> ⑤ コリアート強度を管理し必要な強度に達した後型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 締結の規格が品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 締結の引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ コリアート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 鉄筋の組立・加工が設計図書を満たしたものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 任意作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 丸・平を適切に配渡し、鉄筋のかぶり高確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ コリアートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> ⑭ (全体) <input type="checkbox"/> ⑮ その他 理由：	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他項目に該当しない <input type="checkbox"/> 他項目に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている																				
			●判断基準 <table border="1"> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> <td>d</td> </tr> </table> 注：試験結果の点数数等が少くばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目（評価）だけで判断する。	90%以上	a	a'	b	b'	c	c'	75%以上90%未満	a	b	b'	c	c'	d	60%以上75%未満	a	b	b'	c	c'	d	60%未満	a	b	b'	c
90%以上	a	a'	b	b'	c	c'																							
75%以上90%未満	a	b	b'	c	c'	d																							
60%以上75%未満	a	b	b'	c	c'	d																							
60%未満	a	b	b'	c	c'	d																							
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	港湾工事 (埋岸築造工事)	<input type="checkbox"/> 優れている 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 構造物の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ① 施工管理記録等から不可見部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> ② 構造物等の表面及び端部の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> ③ 構造物等の表面及び端部の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> ④ さめ跡やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> ⑥ クラックがない(コンクリート工事が含まれる場合)	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他項目に該当しない <input type="checkbox"/> 他項目に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている																				

別表3 1-④-29

工事成績採点の調査項目別運用表【土木】

(検査員)

調査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 コンクリート二次製品	a 優れている	b やや優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている																							
<p>【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。</p> <p>評価対象項目とする場合は、左の口をチェックする。また、その内容が実施されている口をチェックする。</p>	<p>※ ばらつき等の判断は別紙4参照。 「評価対象項目」 【共通】 ① 材料の品質が証明書又は試験成績書で確認出来る。 ② 設計図書で定められた条件が満足されていることが、書類で確認出来る。 ③ 施工基礎が平滑に仕上げられ、構造物の基礎材料の材質及び締固め等が適切であることが確認できる。 【水浸等拒付工】 ④ 締固めの施工にあたって、付着、水密性を保ち段差がないことが確認できる。 ⑤ 側溝蓋、グレーチング等の耐摩耗造物がゆるみがなく固定されている。 理由： ⑥ その他 理由： ⑦ 支持地盤の地耐力が平均値試験等で確認されていることが確認できる。 ⑧ 自地施工が設計図書に適合し、接合面の付着、水密性が確保されていることが確認できる。 ⑨ 隣接コンクリートの材質及び施工方法が適切であることが確認できる。 理由： ⑩ その他 理由： 【(大型)ブロック構(壁)、石構(縁)工】 ⑪ 支持地盤の地耐力が平均値試験等で確認されていることが確認できる。 ⑫ 裏込材、駒込めコンクリートの充填または締固めが充分で、空隙が生じていないことが確認できる。 ⑬ 自地の処理及び施工間隔、また、水抜きパイプの配置及び吸出し防止対策が適切に施工されていることが確認できる。 理由： ⑭ その他 理由： 【補強工事等】 ⑮ 設計図書で定められたタイプ、ストリップ等の補強材料の設置位置、延長等が資料により確認できる。 ⑯ 盛土材料の土質試験を行い、締め固めを適切な条件で行っていることが確認できる。 ⑰ 設計図書で定められた盛土排水等の排水施設の設置位置、断面、延長等が、資料により確認できる。 ⑱ 盛面に接するフィルター材(砕石等)の品質、施工幅及び締固めの方法が適切であることが確認できる。 理由： ⑲ その他 理由：</p>	<p>【評価基準】</p> <table border="1"> <tr> <td>計</td> <td>90%以上</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%未満</td> <td>ばらつきで</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>175%以上90%未満</td> <td>a</td> <td>a</td> <td>a</td> <td>判断不可</td> </tr> <tr> <td>層</td> <td>150%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b</td> <td>b</td> <td>判断不可</td> </tr> <tr> <td></td> <td>150%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>判断不可</td> </tr> </table> <p>注 試験結果の打点割合が少なくばらつき等の判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>	計	90%以上	50%以下	80%以下	80%未満	ばらつきで	標準	175%以上90%未満	a	a	a	判断不可	層	150%以上75%未満	b	b	b	判断不可		150%未満	b'	c	c	判断不可	<p>他の項目に該当しない</p>	<p>評価対象項目のうちの、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ① 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。 ② 評価値(0.0%) = 対象項目数(0) / 評価対象項目数(0) ③ 評価値(0.0%) = 対象項目数(0) / 評価対象項目数(0) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	<p>上記該当があれば・・・d 上記該当があれば・・・e</p>	<p>評価対象項目のうちの、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ① 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。 ② 評価値(0.0%) = 対象項目数(0) / 評価対象項目数(0) ③ 評価値(0.0%) = 対象項目数(0) / 評価対象項目数(0) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>
			計	90%以上	50%以下	80%以下	80%未満	ばらつきで																						
標準	175%以上90%未満	a	a	a	判断不可																									
層	150%以上75%未満	b	b	b	判断不可																									
	150%未満	b'	c	c	判断不可																									
<p>出来形及び出来ばえ</p>	<p>III. 出来ばえ</p>	<p>工種 コンクリート二次製品</p>	<p>a 優れている</p> <p>① 構造物に有害なひび割れや欠損がない。 ② 構造物の通りがよい。 ③ 天端仕上げ、隅部仕上げ等がよい。 ④ 既設構造物とのすりつきがよい。 ⑤ 全体的な美観が良い。</p>	<p>b やや優れている</p>	<p>c 他の項目に該当しない</p>	<p>d やや劣っている</p>	<p>e 劣っている</p>																							

別表3 1-④-30 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 浚渫工事	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cよりの優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
審査項目 3. 出来形 及び 出来ばえ 評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されていなければ右の口を子エックする。	Ⅰ. 出来形 及び 出来ばえ	浚渫工事	<input type="checkbox"/> 優れている 「評価対象項目」 ① 理由： <input type="checkbox"/> ② 理由： <input type="checkbox"/> ③ 理由： <input type="checkbox"/> ④ 理由： <input type="checkbox"/> ⑤ 理由： <input type="checkbox"/> ⑥ 理由： <input type="checkbox"/> ⑦ 理由： <input type="checkbox"/> ⑧ 理由： ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c	<input type="checkbox"/> bよりの優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cよりの優れている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の項目に該当しない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口子エックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価対象項目数 (O) / 評価対象項目数 (O) ③ 評価値 (O.O%) = 該当項目数 (O) / 評価対象項目数 (O) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。 </div>	<input type="checkbox"/> やや劣っている 上記該当があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 劣っている 上記該当があれば・・・e
	Ⅲ. 出来ばえ	浚渫工事	<input type="checkbox"/> 優れている 「評価対象項目」 ① 細心の注意が払われて施工している。 <input type="checkbox"/> ② きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> ③ 埋河岸とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> ④ 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> cよりの優れている	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない ●判断基準 該当項目が3項目以上・・・・・・ a 該当項目が2項目・・・・・・ b 該当項目が1項目・・・・・・ c 該当項目なし・・・・・・ d	<input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている

別表3 1-④-32 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 橋構工事 (増補欄)	a 優れている	b やや優れている	c cよりの優れている	d やや劣っている	e 劣っている
審査項目 出来形及び出来ばえ 評価対象項目とする場合は、左の口を子エックする。また、その内容が実施されなければ右エックする。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 材料の規格・品質が仕様書等（建物照合含む）で確認できる。（JISA503、5006） <input type="checkbox"/> ② 施工計画書に定められた計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> ③ 特記仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。 <input type="checkbox"/> ④ 測量結果をその都度整理し、それに基づいた施工が行われている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 測り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 不可逆部分の品質管理記録等が適性である。 <input type="checkbox"/> ⑦ その他 理由：		<input type="checkbox"/> aよりの優れている <input type="checkbox"/> bよりの優れている <input type="checkbox"/> cよりの優れている	<input type="checkbox"/> c以上の優れている <input type="checkbox"/> d以上の優れている <input type="checkbox"/> e以上の優れている	<input type="checkbox"/> d以上の優れている <input type="checkbox"/> e以上の優れている	<input type="checkbox"/> e以上の優れている <input type="checkbox"/> 評価後の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修繕指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。	<input type="checkbox"/> e以上の優れている <input type="checkbox"/> 評価後の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修繕指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。
	① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(0) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。			<input type="checkbox"/> 他のもに該当しない ●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・b' 評価値が60%未満・・・c	<input type="checkbox"/> 他のもに該当しない ●判断基準 該当項目が2項目 該当項目が1項目 該当項目なし	<input type="checkbox"/> d以上の優れている <input checked="" type="checkbox"/> e以上の優れている	<input type="checkbox"/> e以上の優れている <input checked="" type="checkbox"/> 他のもに該当しない
審査項目 出来形及び出来ばえ	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 評価範囲にむらなく分布している。 <input type="checkbox"/> ② 凹凸がない。		<input type="checkbox"/> aよりの優れている <input type="checkbox"/> bよりの優れている	<input type="checkbox"/> c以上の優れている <input type="checkbox"/> d以上の優れている	<input type="checkbox"/> d以上の優れている <input checked="" type="checkbox"/> e以上の優れている	<input type="checkbox"/> e以上の優れている <input checked="" type="checkbox"/> 他のもに該当しない	<input type="checkbox"/> e以上の優れている <input checked="" type="checkbox"/> 他のもに該当しない

別表3 1-④-33

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 その他工事															
審査項目 出来形 及び 出来ばえ 評価対象項目とする場合は、左の口をずエックする。また、その内容が実施されていれれば右の口をチエックする。	<p>〈A〉 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> b上の優れている <input type="checkbox"/> c上の優れている</p> <p>〈B〉 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> b上の優れている <input type="checkbox"/> c上の優れている</p> <p>※ b以上の評価は別紙-5参照。</p> <p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：</p>	<p>□ やや優れている 品質関係の試験結果のばらつきや評価対象項目の履行状況（取付値）から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>□ 他の評価に該当しない</p>															
	<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：</p> <p><A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 取付項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ② 取付値（％）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は C 評価とする。</p> <p> 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 取付項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ② 評価値（％）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は C 評価とする。</p> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>評</td> <td>80%以上</td> <td>ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断可能</td> </tr> <tr> <td>価</td> <td>75%以上90%未満</td> <td>50%以下、80%以下、80%を超える</td> <td>ばらつきが50%以下</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>60%以上75%未満</td> <td>a, b, c</td> <td>ばらつきが80%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>a, b, c</td> <td>ばらつきが80%以下を認める</td> </tr> </table> <p>注：採点対象の採点数が少なくばらつきによる評価が不適切な場合は評価対象項目（評価目）だけで判断する。</p>	評	80%以上	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断可能	価	75%以上90%未満	50%以下、80%以下、80%を超える	ばらつきが50%以下	目	60%以上75%未満	a, b, c	ばらつきが80%以下		60%未満	a, b, c	ばらつきが80%以下を認める
評	80%以上	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断可能														
価	75%以上90%未満	50%以下、80%以下、80%を超える	ばらつきが50%以下														
目	60%以上75%未満	a, b, c	ばらつきが80%以下														
	60%未満	a, b, c	ばらつきが80%以下を認める														
審査項目 出来形 及び 出来ばえ	<p>III. 出来ばえ</p> <p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、最大審査項目は5項目とする。</p>	<p>□ やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている</p> <p>□ 他の評価に該当しない</p>	<p>□ やや劣っている 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修繕指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。</p> <p>□ 劣っている 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修繕指示を行った後、引渡し後、瑕疵担保期間中に事故等により瑕疵が判明した。</p> <p>上記該当があれば・・・e</p>														

別表3 1-④-33② 工事成積採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目	細別	Ⅱ. 品質	Ⅲ. 出来はえ	Ⅳ. 出来はえ
3. 出来形及び出来はえ	その他工事 アンカー工	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>
		<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>
<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅰ. 品質</p> <p>Ⅱ. 出来形</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>

【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅰ. 品質
Ⅱ. 出来形
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

別表3 1-④-33③ 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。

審査項目	細別	Ⅱ. 品質	Ⅲ. 出来はえ	Ⅳ. 出来はえ
3. 出来形及び出来はえ	その他工事 地すべり防止工事 (抑止工)	<p>Ⅱ. 品質</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅳ. 出来はえ</p>
		<p>Ⅱ. 品質</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅳ. 出来はえ</p>
<p>Ⅱ. 品質</p> <p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅲ. 出来はえ</p> <p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅳ. 出来はえ</p>	<p>Ⅳ. 出来はえ</p>

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

Ⅱ. 品質
Ⅲ. 出来はえ
Ⅳ. 出来はえ

別表3 1-④-33⑤

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 及び 出来ばえ	細別 品質	工種	Ⅰ. 品質	Ⅱ. 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ
3. 出来形状及び出来ばえ	II. 品質	その他工事	<p>Ⅰ. 優れている</p> <p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>制限基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつき等の判断は別紙を参照。</p>	<p>Ⅱ. やや優れている</p> <p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞</p>	<p>Ⅲ. 他の中面に該当しない</p>
		残土処分工	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>制限基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験</p> <p>※ ばらつき等の判断は別紙を参照。</p> <p>「評価対象項目」</p> <p>① 理由：雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施しているなど、突強に留意して施工していることが確認できる。</p> <p>② 理由：切取り面を丁寧に施工していることが確認できる。</p> <p>③ 理由：汚濁・流出対策及び防塵対策等が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>④ 理由：搬出（処分）土量の管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>⑤ 理由：採掘線根・除草作業及び処分が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>⑥ 理由：.....</p> <p>⑦ 理由：.....</p> <p>⑧ 理由：.....</p>	<p>Ⅳ. やや劣っている</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、再測定を行い、結果が改善されなかった。</p> <p>上記該当があれば・・・d</p>	<p>Ⅴ. 劣っている</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、再測定を行い、結果が改善されなかった。</p> <p>上記該当があれば・・・e</p>
3. 出来形状及び出来ばえ	III. 出来ばえ	その他工事	<p>Ⅰ. 優れている</p> <p>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</p> <p>① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>② 評価値（％）= 該当項目数 / 評価対象項目数</p> <p>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は C 評価とする。</p>	<p>Ⅱ. やや優れている</p> <p>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</p> <p>① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>② 評価値（％）= 該当項目数 / 評価対象項目数</p> <p>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は C 評価とする。</p>	<p>Ⅲ. 他の中面に該当しない</p>
		残土処分工	<p>Ⅰ. 優れている</p> <p>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</p> <p>① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>② 評価値（％）= 該当項目数 / 評価対象項目数</p> <p>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は C 評価とする。</p>	<p>Ⅱ. やや優れている</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、再測定を行い、結果が改善されなかった。</p> <p>上記該当があれば・・・d</p>	<p>Ⅲ. 劣っている</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理員が修正指示を行った後、再測定を行い、結果が改善されなかった。</p> <p>上記該当があれば・・・e</p>

●判断基準

90%以上	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断可能
75%以上-90%未満	50%以下、80%以下、80%を超える	ばらつきが50%以下
60%以上-75%未満	a, b, b', c	ばらつきが80%以下
60%未満	a, b, b', c	ばらつきが80%以上を越える
	b, c, c	ばらつきで判断不可能

注：試験結果の打点数が少なくばらつきを判断できない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。

- 判断基準
- 該当項目が4項目以上..... a
 - 該当項目が3項目..... b
 - 該当項目が2項目..... c
 - 該当項目が1項目以下..... d

別表3 1-④-33⑥ 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 その他工事	備考 記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
評価対象項目とする場合は左の口を子エックする。また、その内容が実施されれば右の口を子エックする。	(A) <input type="checkbox"/> 優れている (B) <input type="checkbox"/> 劣れている ※ ばらつき等の判断は別紙を参照。 「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> 理由：盛土材の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> 理由：盛土の締固めが適切な条件（含水比、人方・機械別、巻き出し厚・敷均し、転圧作業等）で施工されている。 <input type="checkbox"/> 理由：フレッシュアスファルト製品・材料等の品質が管理資料により確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由：現場状況に即した排水対策が施工時をきめ適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由：盛土の締固め管理（密度等）が適切に実施されていることが確認できる。 【テールアルム、多動アンカー】 <input type="checkbox"/> 理由：錨固材と補強材の取付けが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 理由：補強材の取付角度が適切で、水平に敷設されている。 <input type="checkbox"/> 理由：透水防砂材の取付けが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 理由：自地材の設置が適切に行われている。 【ジオテキスタイル】 <input type="checkbox"/> 理由：錨固材とジオテキスタイル（補強材）の連結等取立が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 理由：ジオテキスタイルは錨固材に対し座角が水平に敷設され、適度に緊縮・固定されている。 <input type="checkbox"/> 理由：シート、養生マットの取付けが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 理由：	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> 劣れている <input type="checkbox"/> 劣れている 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 理由：盛土材（コンクリート製品）の割れ、欠けがない。 <input type="checkbox"/> 理由：基礎上面の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 理由：天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 理由：天端材の目違い、段差が少なく補強物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 理由：全般的な裏面が良い。 ※ 該当工種からの審査項目で審査し、最大審査項目は5項目とする。	評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c	ばらつきで判断可能 ばらつきが60%以下 ばらつきが80%以下 ばらつきが80%以上90%未満 ばらつきが90%以上 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満 判断不可 a a' b b' c c' d d'	評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c	評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c	評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c	評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c

別表3 1-④-33(7) 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目	細別	品質	II. 出来ばえ	工種	その他工事	軽量盛土工	出来ばえ
3. 出来ばえ及び出来ばえ	II. 品質	出来ばえ	出来ばえ	その他工事	軽量盛土工		
3. 出来ばえ及び出来ばえ	III. 出来ばえ	出来ばえ	出来ばえ	その他工事	軽量盛土工		

【記入方法】 該当する項目の口にレマークを記入する。

3. 出来ばえ及び出来ばえ

審査項目	細別	品質	II. 出来ばえ	工種	その他工事	軽量盛土工	出来ばえ
3. 出来ばえ及び出来ばえ	II. 品質	出来ばえ	出来ばえ	その他工事	軽量盛土工		
3. 出来ばえ及び出来ばえ	III. 出来ばえ	出来ばえ	出来ばえ	その他工事	軽量盛土工		

【審査項目】

II. 出来ばえ

軽量盛土工

出来ばえ

出来ばえ

【審査項目】

III. 出来ばえ

軽量盛土工

出来ばえ

出来ばえ

II. 出来ばえ

軽量盛土工

出来ばえ

出来ばえ

【審査項目】

III. 出来ばえ

軽量盛土工

出来ばえ

出来ばえ

【審査項目】

III. 出来ばえ

軽量盛土工

出来ばえ

出来ばえ

別表3 1-④-33⑧ 工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 及び 出来ばえ	細 別 Ⅱ. 品質	Ⅲ. 出来ばえ	工 種	Ⅳ. 出来ばえ
3. 出来ばえ 及び 出来ばえ	<p>3. 出来ばえ 及び 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目 とする場合は 左の口をチ ェックする。 また、その 内容が実施さ れているれば右 の口をチエッ クする。</p>	<p>Ⅲ. 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：構造物に有害なひび割れや傷、錆等の欠損がない。 ② 理由：天端及び端部の仕上げが良い。 ③ 理由：取壊構造物へのすりつけが良い。 ④ 理由：施工管理記録などから不可部分の出来ばえの良さが伺える。 ⑤ 理由：全体的な美観が良い。</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、審査項目は5項目とする。</p>	<p>工 種</p> <p>その他工事 耐震性貯水施設 備工事</p>	<p>Ⅳ. 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：構造物に有害なひび割れや傷、錆等の欠損がない。 ② 理由：天端及び端部の仕上げが良い。 ③ 理由：取壊構造物へのすりつけが良い。 ④ 理由：施工管理記録などから不可部分の出来ばえの良さが伺える。 ⑤ 理由：全体的な美観が良い。</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、審査項目は5項目とする。</p>
3. 出来ばえ 及び 出来ばえ	<p>3. 出来ばえ 及び 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：材料の品質が仕様書又は試験成績書で確認できる。 ② 理由：掘削による、周辺への影響がないことが確認できる。 ③ 理由：構造物周辺の確固性を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 ④ 理由：施工基面に水障がなく、床面が適切に施工され、平面に仕上げられていることが確認できる。 ⑤ その他 理由： 〔本体設置（埋地組立）関係〕 ⑥ 理由：製品の規格が品質証明する書類及び埋物により適合していることが確認できる。 ⑦ 理由：刃部部の養生が自らなされていないことが確認できる。 ⑧ 理由：支持地盤の耐力が平均値を超過していることが確認できる。 ⑨ 理由：掘削部が水密性を保ち、止水が適切に施工されていることが確認できる。 ⑩ 理由：掘削部において、必要に応じて必要十分な厚さのコンクリートが打設されていることが確認できる。 ⑪ 理由：底版及び基礎コンクリートの連続性、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑫ その他 理由： 〔ブロック積（縁）、石積（張）工関係〕 ⑬ 理由：支持地盤の耐力が平均値を超過していることが確認できる。 ⑭ 理由：裏込材、駒込めコンクリートの打設または締固めが充分で、空層が形成されていないことが確認できる。 ⑮ 理由：自地の処理及び施工関係、また、水抜きパイプの配置及び吸出し防止対策が適切に施工されていることが確認できる。 ⑯ その他 理由： 〔舗装工関係〕 ⑰ 理由：舗装工の施工にあたって、上層路筋面の浮きなどの有害物を除去していることが確認できる。 ⑱ 理由：アスファルト舗装物の厚さが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ⑲ 理由：アスファルト舗装管理が設計図書の使用を満足していることが確認できる。 ⑳ 理由：コンクリートの品質試験が適切に行われていることが確認できる。 ㉑ 理由：コンクリートの連続性、打設方法及び養生方法が施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 ㉒ 理由：舗装後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 ㉓ その他 理由：</p>	<p>Ⅲ. 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：構造物に有害なひび割れや傷、錆等の欠損がない。 ② 理由：天端及び端部の仕上げが良い。 ③ 理由：取壊構造物へのすりつけが良い。 ④ 理由：施工管理記録などから不可部分の出来ばえの良さが伺える。 ⑤ 理由：全体的な美観が良い。</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、審査項目は5項目とする。</p>	<p>工 種</p> <p>その他工事 耐震性貯水施設 備工事</p>	<p>Ⅳ. 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：構造物に有害なひび割れや傷、錆等の欠損がない。 ② 理由：天端及び端部の仕上げが良い。 ③ 理由：取壊構造物へのすりつけが良い。 ④ 理由：施工管理記録などから不可部分の出来ばえの良さが伺える。 ⑤ 理由：全体的な美観が良い。</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、審査項目は5項目とする。</p>
3. 出来ばえ 及び 出来ばえ	<p>3. 出来ばえ 及び 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：構造物に有害なひび割れや傷、錆等の欠損がない。 ② 理由：天端及び端部の仕上げが良い。 ③ 理由：取壊構造物へのすりつけが良い。 ④ 理由：施工管理記録などから不可部分の出来ばえの良さが伺える。 ⑤ 理由：全体的な美観が良い。</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、審査項目は5項目とする。</p>	<p>Ⅲ. 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：構造物に有害なひび割れや傷、錆等の欠損がない。 ② 理由：天端及び端部の仕上げが良い。 ③ 理由：取壊構造物へのすりつけが良い。 ④ 理由：施工管理記録などから不可部分の出来ばえの良さが伺える。 ⑤ 理由：全体的な美観が良い。</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、審査項目は5項目とする。</p>	<p>工 種</p> <p>その他工事 耐震性貯水施設 備工事</p>	<p>Ⅳ. 出来ばえ</p> <p>【評価対象項目】 ① 理由：構造物に有害なひび割れや傷、錆等の欠損がない。 ② 理由：天端及び端部の仕上げが良い。 ③ 理由：取壊構造物へのすりつけが良い。 ④ 理由：施工管理記録などから不可部分の出来ばえの良さが伺える。 ⑤ 理由：全体的な美観が良い。</p> <p>※該当工種からの審査項目で審査し、審査項目は5項目とする。</p>

【記入方法】該当する項目の口にレマークを記入する。

Ⅰ. 品質
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅱ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅲ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅳ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅴ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅵ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅶ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅷ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅸ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅹ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅺ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅻ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅼ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅽ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅾ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

Ⅿ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅰ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅱ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅲ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅳ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅴ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅵ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅶ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅷ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅸ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅹ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅺ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅻ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

ⅼ. 出来ばえ
 a. 優れている
 b. やや優れている
 c. 劣れている
 d. やや劣っている
 e. 劣っている

別表3 1-④-34

工事成績探点の調査項目別運用表【土木】

(検査員)

調査項目 3. 出来形及び出来ばえ	細別 II. 品質	工種 機械設備工事	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
<p>「評価対象項目」の調査結果を記入する。</p> <p>① 材料、部品の品質(物理特性)を整理し品質の確保ができる。</p> <p>② 設備の機能及び性能が、承諾図書の通り確保され、品質の確保ができる。</p> <p>③ 設計図書の様相を踏まえ、承諾設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</p> <p>④ 機械の機能及び性能に際する取替書が整理され、品質の確保ができる。</p> <p>⑤ 設備管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確保ができる。</p> <p>⑥ 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確保ができる。</p> <p>⑦ 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書の通り配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</p> <p>⑧ 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確保ができる。</p> <p>⑨ 小配管、電気配線、配管が承諾図書の通り敷設していることが確認できる。</p> <p>⑩ 設備の取説説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p>⑪ 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</p> <p>⑫ 機械の配置や機種の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</p> <p>⑬ 設備の構造や機種の配置が、交換作業を容易にできるように工夫していることが確認できる。</p> <p>⑭ 二次コンクリートの配合試験及び試験結果を要領し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</p> <p>⑮ ハルパ類の平時の状態を示すレベル値が目やまい状態を示していることが確認できる。</p> <p>⑯ 計器類に運転時の過負荷原因を見やすく表示していることが確認できる。</p> <p>⑰ 回線計や高温部等の危険箇所に表示や又は防塵を施していることが確認できる。</p> <p>⑱ 輸送物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>⑳ その他</p> <p>理由： _____</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 優れている</p> <p><input type="checkbox"/> bより優れている</p> <p><input type="checkbox"/> cより優れている</p> <p><input type="checkbox"/> eより優れている</p> <p><input type="checkbox"/> 他のもに該当しない</p>	<p>評価値が90%以上..... a.</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... a.</p> <p>評価値が70%以上80%未満..... b.</p> <p>評価値が60%以上70%未満..... b.</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>	<p>上記該当があれば・・・e</p>				
	<p>「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。</p> <p>② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の形で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 対象項目数 (〇) / 評価対象項目数 (〇)</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 優れている</p> <p><input type="checkbox"/> やや優れている</p> <p><input type="checkbox"/> 他のもに該当しない</p>	<p>●判断基準</p> <p>該当項目が4項目以上..... a</p> <p>該当項目が3項目..... b</p> <p>該当項目が2項目..... c</p> <p>該当項目が1項目以下..... d</p>	<p>上記該当があれば・・・d</p>			
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p>	<p>III. 出来ばえ</p>	<p>機械設備工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 優れている</p> <p><input type="checkbox"/> やや優れている</p> <p><input type="checkbox"/> 他のもに該当しない</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 優れている</p> <p><input type="checkbox"/> やや優れている</p> <p><input type="checkbox"/> 他のもに該当しない</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 優れている</p> <p><input type="checkbox"/> やや優れている</p> <p><input type="checkbox"/> 他のもに該当しない</p>	<p>上記該当があれば・・・d</p>	<p>上記該当があれば・・・e</p>

別表3 1-④-35

工事成績採点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

審査項目 3. 出来形 及び 出来ばえ	細 別 II. 品質	工 種 電気設備工事	a 優れている	b やや優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
評価対象項目 とする場合は 、左の口をチ ェックする。 また、その 内容が実施さ れている口をチ ェックする。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> ① 製作手前に目録や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の様相を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 機能の品質、機能及び性能が設計図書の通り配置され、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 操作スイッチや表示灯が承認図書の通りの配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ ケーブル及び配線の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 設備全体についての取扱説明書を工未し作成（修繕・更新含む）の場合同じ、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易に行えるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ その他 理由：	a <input type="checkbox"/> bよりの優れている <input type="checkbox"/> cよりの優れている <input type="checkbox"/> eよりの優れている	b <input type="checkbox"/> cよりの優れている <input type="checkbox"/> eよりの優れている	c <input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	d <input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> やや劣っている 上記該当があれば・・・d	e <input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 設備関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、後 継ぎ員が修繕指示を行った 引渡し後、瑕疵担保期間中に 事故等により瑕疵が判明し た。 上記該当があれば・・・e	
							① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③ 評価値（0.0%）= 該当項目数（○） / 評価対象項目数（○） ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。
審査項目 3. 出来形 及び 出来ばえ	細 別 III. 出来ばえ	工 種 電気設備工事	a <input type="checkbox"/> 優れている	b <input type="checkbox"/> やや優れている	c <input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	d <input checked="" type="checkbox"/> やや劣っている	評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> ① 劣り幅や施工がなされている。 <input type="checkbox"/> ② 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> ③ 動作状態において、電気的及び機械的動作が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ④ ケーブル等の接続方法及び収線状況が適切である。 <input type="checkbox"/> ⑤ 条件、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 全体的な美観が良い。

別表3 1-④-36

工事成績探点の審査項目別運用表【土木】

(検査員)

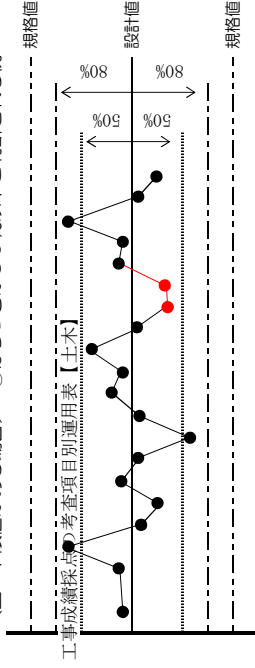
審査項目 3. 出来形 及び 出来ばえ	細 別 II. 品質	工 種 通信設備工事・ 受変電設備等工 事	a 優れている	b やや優れている	c 他の項目に該当しない	d やや劣っている	e 劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ 評価対象項目 とする場合は 、左の口をチ ェックする。 また、その 内容が実施さ れているれば右 の口をチエッ クする。	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> ① 設計図書に定められている品質管理を準備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書を準備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 材料及び構成部品の検査が、品質保証書等（特別照会を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 設備、機具の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足した手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ ケーブル及び配線の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作が容易に判断できる資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 設備全体について、設計図書に規定した品質及び性能を工務試験記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ 理由： <input type="checkbox"/> ⑬ <input type="checkbox"/> ⑭	<input type="checkbox"/> aより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input checked="" type="checkbox"/> ① 判断基準 ●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・a 評価値が70%以上80%未満・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・b 評価値が60%未満・・・c	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 評価関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 査員が修正指示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間中に 事故等により瑕疵が判明し た。	<input type="checkbox"/> 劣っている <input type="checkbox"/> 評価関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 査員が修正指示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間中に 事故等により瑕疵が判明し た。	上記該当があれば・・・e 上記該当があれば・・・d	上記該当があれば・・・e 上記該当があれば・・・d	
							① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%計算)の値で評価する。 ③ 評価値 (〇〇%) = 該当項目数 (〇) / 評価対象項目数 (〇) ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする。
3. 出来形 及び 出来ばえ	III. 出来ばえ	工 種 通信設備工事・ 受変電設備等工 事	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 劣れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> 判断基準 ●判断基準 該当項目が5項目以上・・・a 該当項目が4項目 ・・・b 該当項目が3項目 ・・・c 該当項目が2項目以下 ・・・d	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 評価関係の測定方法又は測定 値が不適切であったため、監 査員が修正指示を行った。 引渡し後、瑕疵担保期間中に 事故等により瑕疵が判明し た。

別表4

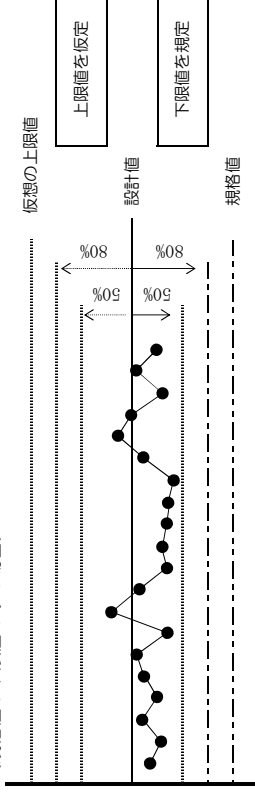
1. 出来形及び品質のばらつきを考え方

〔管理図の場合〕

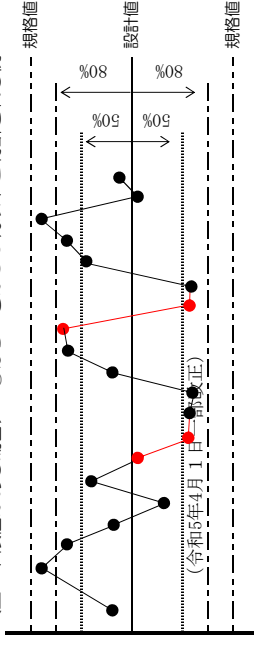
(上・下限度がある場合) ①ばらつきが50%以下と判断される例



(規格値が下限値のみの場合)

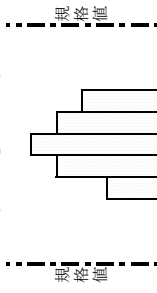


(上・下限度がある場合) ②ばらつきが80%以下と判断される例

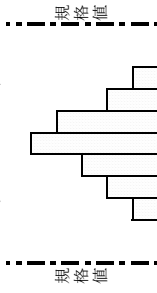


〔度数表またはヒストグラムの場合〕

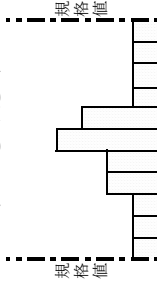
(ばらつきが小さい)



(ばらついている)

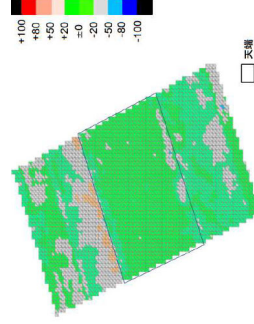


(ばらつきが大きい)



〔ICT活用工事の場合〕
出来形可否判定総括表の分布図や計測点の個数により
ばらつきを判定
ばらつきが50%以下と判断できる例

項目	データ数	出稼形管理結果
天端のばらつき	規格値の±80%	1000
	以内のデータ数	1000
法面のばらつき	規格値の±50%	997
	以内のデータ数	1700
法面のばらつき	規格値の±80%	1700
	以内のデータ数	1540
法面のばらつき	規格値の±50%	1540
	以内のデータ数	



※上限値のない場合はばらつきを考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつき%を考慮する。

2. 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 多工種工事の場合は、主たる3工種以内で評定する。ただし、それ以外の工種で重要な場合は3工種以内に含むことができる。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「多工種複合工事」欄を活用する。

3. コンクリート構造物のクラックについて

クラックが発生した構造物では、「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針」に基づき、評価した結果、補修または補強が必要と判断されたクラック（以下、許容できないクラック）に該当するかどうか調査する。なお、許容できないクラックの目安は、同指針に基づき、表面におけるクラック幅が「0.2mm以上」（ただし、防水性・水密性に及ぼす影響が大きい場合（対象構造物としては常時水圧が作用する環境にあるタンク、地下外壁など）は「0.05mm」以上とする。）

- (1) 「施工が原因で許容できないクラックが発生し、有識者（コンクリート診断士等）の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、「c評価」とする。
- (2) 「施工が原因で許容できないクラックが発生したが、無処理のまま完成検査を受けたし、手直し指示を受けた」等が見られたら、「e評価」とする。
- その他

4. 「施工プロセス」チェックリストを活用して、評定を行う。

- ・「4. 工事特性」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、受注者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行う。